



**Cisco Unified Personal Communicator  
for Windows ユーザガイド  
Release 1.2**

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

Any Internet Protocol (IP) addresses used in this document are not intended to be actual addresses. Any examples, command display output, and figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses in illustrative content is unintentional and coincidental.

*Cisco Unified Personal Communicator for Windows コーザガイド Release 1.2*  
copyright © 2006-2007 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

For third-party copyright information, see the Appendix.



## CONTENTS

---

### CHAPTER 1

## Cisco Unified Personal Communicator を使用するための準備

### 1-1

アプリケーションを設定する方法	1-2
Cisco Unified Personal Communicator のインストール	1-2
Cisco 製ビデオ カメラのインストールと設定	1-3
非互換プログラムの終了	1-5
ヘッドセットの設定	1-5
ログイン	1-5
ボイスメールの設定	1-6
Web 会議の設定	1-7
オプション設定を設定する方法	1-8
自動ログイン	1-8
自動ログインと自動パスワード入力のカンセル	1-8
オーディオ デバイスとビデオ デバイスの指定	1-9
呼び出しデバイスと音量の指定	1-10
制御する電話の選択	1-11
関連付けるデスクの電話の選択	1-12
優先する連絡手段の指定	1-14
自分の連絡先情報の指定	1-14
詳細なドキュメントの入手先	1-16
Cisco 製品のセキュリティ概要	1-18
Cisco Unified Personal Communicator のアップグレード	1-18

CHAPTER 2

**Cisco Unified Personal Communicator でのプレゼンス ステータスの使用** 2-1

- プレゼンス ステータスについて 2-2
- プレゼンス ステータス アイコンの識別 2-3
- プレゼンス ステータスの設定 2-5
- 各セッション中のプレゼンス ステータスの指定 2-7
- プレゼンス ステータス オプションへのカスタム ステータス メッセージの追加 2-9
- カスタムの外出中メッセージの表示 2-10

CHAPTER 3

**Cisco Unified Personal Communicator を使用した会話** 3-1

- 会話について 3-2
- コールの開始方法 3-3
  - コンソールにリストされているユーザへのコール 3-3
  - 任意の番号へのコール 3-4
  - Cisco Unified Personal Communicator を使用して Microsoft Outlook からダイヤルする方法 3-5
    - 電子メール送信者、受信者、または Outlook の連絡先へのダイヤル 3-6
    - Outlook から任意の番号へのダイヤル 3-7
- 着信コールに対する応答 3-9
- 処理中の会話を操作する方法 3-11
  - プッシュホン応答の入力 3-11
  - 会話の保留と再開 3-12
  - コールの転送 3-12
  - コールの音量の変更 3-13
  - 会話の参加者の表示 3-14
  - 会話の終了 3-14

## 会話ウィンドウのクローズ 3-15

## CHAPTER 4

**Cisco Unified Personal Communicator でのビデオの使用 4-1**

- ビデオ会話について 4-2
- ビデオを使用する前に 4-3
- ビデオの表示 4-4
- 進行中のビデオ会話の操作 4-5

## CHAPTER 5

**Cisco Unified Personal Communicator での Web 会議の使用 5-1**

- Web 会議について 5-1
- 会話への Web 会議と Web 参加者の追加 5-2
- 進行中の Web 会議セッションの操作 5-4
- 標準的な Web 会議との比較 5-6

## CHAPTER 6

**Cisco Unified Personal Communicator を使用した会議コールのホスティング 6-1**

- コールの結合について 6-2
- コールの結合 6-3

## CHAPTER 7

**Cisco Unified Personal Communicator を使用したメッセージの送信 7-1**

- インスタントメッセージの送信 7-2
  - メッセージ オプションの選択 7-3
  - メッセージの保存 7-4
- 電子メール メッセージの送信 7-4

CHAPTER 8

**Cisco Unified Personal Communicator での連絡先の管理 8-1**

- 連絡先一覧について 8-1
- 連絡先を操作する方法 8-2
  - 連絡先の検索 8-2
    - 検索結果の操作 8-3
  - 一覧への連絡先の追加 8-3
  - 連絡先の詳細情報の表示 8-4
  - 他のユーザの優先する連絡手段の識別 8-4
  - 連絡先情報の修正 8-6
  - 一覧からの連絡先の削除 8-6
- 連絡先のグループの操作 8-7

CHAPTER 9

**Cisco Unified Personal Communicator を使用した通信履歴の操作**

- 9-1
- 通信履歴について 9-2
- 通信履歴のアイテムについて 9-3
- 通信履歴のリストおよびアイテムの操作 9-4
- ボイスメールへのアクセス 9-6

CHAPTER 10

**トラブルシューティング Cisco Unified Personal Communicator**

- 10-1
- アプリケーションの設定に関する問題 10-2
- ログインと起動に関する問題 10-2
  - エラー：ログインに失敗する 10-2
  - ログイン時にアプリケーションがフリーズする 10-3
  - アプリケーションの起動が遅い 10-3
  - デスクの電話デバイスを使用できない 10-4
- 一般的な問題 10-5

アプリケーションが応答しない、または動作がおかしい	
10-5	
セキュリティ警告が表示される	10-6
電話の選択に関する問題	10-7
電話をアクティブにできない	10-7
希望するデスクの電話がリストに表示されない	10-7
コンソールの問題	10-8
コンソールが画面のサイズに合わない	10-8
メニュー項目、ボタン、オプションが淡色表示される	10-8
カラムが狭すぎる	10-9
コンソール内のウィンドウのサイズを変更できない	10-9
プレゼンス ステータスに関する問題	10-10
コールの発信に関する問題	10-11
ボタンやメニュー項目が淡色表示される	10-11
Outlook からのコール：セキュリティ警告が表示される	10-11
着信コールの問題	10-12
着信コールの通知が表示されない	10-12
電話の呼び出し音が聞こえない	10-12
会話中の問題	10-13
音声聞こえない	10-13
Windows XP の詳細なスピーカー サウンド設定の確認	10-14
自分の声が他の参加者に聞こえない、または音質が悪い	10-15
Windows XP の詳細なマイク サウンド設定の確認	10-16
会話ウィンドウのコントロールが使用できない	10-18

コールを結合できない	10-18
カメラまたはビデオに関する問題	10-19
カメラを接続すると設定プロセスが再度実行される	10-19
予想外の状況でカメラ ドライバの選択を求められる	10-19
ビデオを使用するためのオプションが淡色表示される	10-20
コンピュータがカメラを認識しない、または自分のビデオ画像が表示されない	10-20
ビデオが表示されず音声しか再生されない	10-21
相手のビデオ画像が表示されない	10-21
ビデオが遅れて表示される、画質が悪い、または何も表示されない	10-21
音声コールにビデオを追加できない	10-22
自分の画像が 2 つ表示される	10-22
Web 会議の問題	10-23
Web 会議を追加すると、ログイン情報の入力を求められる	10-23
Web 会議を追加できない	10-23
Web 会議の言語が異なる	10-24
Web 会議への接続が切断された	10-24
Web 会議ウィンドウが一部の参加者に対して表示されない	10-24
Web 会議が標準的な Web 会議と異なる	10-24
インスタント メッセージに関する問題	10-25
インスタントメッセージ ボタンが淡色表示される	10-25
メッセージが相手に届かない	10-25
メッセージ : 「[ ユーザ ] にメッセージは届きませんでした。」	10-26

新しいメッセージが古いメッセージと同じウィンドウに表示される	10-26
[ 通信履歴 ] ウィンドウの問題	10-27
実際に行ったコールがリストに表示されない	10-27
リストに名前ではなく電話番号が表示される	10-27
ボイスメールに関する問題	10-27
検索に関する問題	10-28
検索結果が正しくないように思われる	10-28
検索の実行後、アプリケーションが応答していないように見える	10-28
オンライン ヘルプへのアクセスに関する問題	10-28
管理者に提供する情報の取得	10-29
コール統計の確認	10-29
サーバステータスの確認	10-30
ログ ファイルの収集	10-30
詳細ログの有効化	10-31

---

APPENDIX A

**Third-Party Copyright and License Information**      A-1

---

GLOSSARY

**用語集**


---

INDEX

**索引**





# Cisco Unified Personal Communicator を使用するための準備

---

- [アプリケーションを設定する方法、1-2 ページ](#)
- [オプション設定を設定する方法、1-8 ページ](#)
- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)
- [Cisco 製品のセキュリティ概要、1-18 ページ](#)
- [Cisco Unified Personal Communicator のアップグレード、1-18 ページ](#)

## アプリケーションを設定する方法

次のタスクを順序どおりに実行してください。

- [Cisco Unified Personal Communicator のインストール、1-2 ページ](#)
- [Cisco 製ビデオ カメラのインストールと設定、1-3 ページ](#)
- [非互換プログラムの終了、1-5 ページ](#)
- [ヘッドセットの設定、1-5 ページ](#)
- [ログイン、1-5 ページ](#)
- [ボイスメールの設定、1-6 ページ](#)
- [Web 会議の設定、1-7 ページ](#)

## Cisco Unified Personal Communicator のインストール

システム管理者が Cisco Unified Personal Communicator をコンピュータにインストールしていない場合は、これをインストールしてください。

### 始める前に

- 以前のバージョンからアップグレードする場合は、[Cisco Unified Personal Communicator のアップグレード、1-18 ページ](#)の指示に従ってください。
- システム管理者は、この製品を使用するためのシステム要件をユーザの機器が満たしていることを確認する必要があります。
- ソフトウェアをコンピュータにインストールするには、管理者権限が必要です。

### 手順

- 
- ステップ 1** システム管理者からインストーラを入手します。
  - ステップ 2** 少なくとも 175 MB の空きディスク領域があることを確認します。
  - ステップ 3** インストーラをダブルクリックします。

**ステップ 4** 画面上の指示に従います。



**(注)** デフォルトでは、Microsoft Outlook ツールバーがインストールされます。



**ヒント**

Outlook ツールバーを削除するには、Outlook のオンライン ヘルプでアドインを削除する方法を参照してください。[ プログラムの追加と削除 ] を使用して Cisco Unified Personal Communicator アプリケーションをアンインストールすることもできます。

#### 関連トピック

- [アプリケーションの設定に関する問題、10-2 ページ](#)
- [Cisco 製ビデオ カメラのインストールと設定、1-3 ページ](#)
- [Cisco Unified Personal Communicator を使用して Microsoft Outlook からダイヤルする方法、3-5 ページ](#)

## Cisco 製ビデオ カメラのインストールと設定

通常、ビデオ カメラはシステム管理者から配布されます。このセクションで説明されているソフトウェアをインストールする必要があるかどうかについては、システム管理者に問い合せてください。

#### 始める前に

以前のリリースの Cisco Unified Personal Communicator からアップグレードする場合は、最初に [Cisco Unified Personal Communicator のアップグレード、1-18 ページ](#) の指示に従ってください。

## 手順

- 
- ステップ 1** ビデオ カメラがコンピュータに接続されていないことを確認します。
- ステップ 2** 少なくとも 20 MB の空きディスク領域があることを確認します。
- ステップ 3** インストーラをダブルクリックします。
- ステップ 4** 画面上の指示に従います。
- ステップ 5** 必要に応じて、カメラに添付されている説明書に従ってカメラを組み立てます。

「How to Set Up the Cisco VT Camera」または「How to Set Up the Cisco VT Camera II」のいずれかの情報のみが必要になります。

- ステップ 6** コンピュータの USB ポートにカメラを接続します。

Windows XP の場合は、一連のメッセージが画面に表示されます。次のメッセージが表示されるまで待ちます。「新しいハードウェアが見つかりました。新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」

Windows Vista の場合は、「デバイスを使用する準備ができました。」というメッセージが表示されるまで待ちます。



### ヒント

このソフトウェアをアンインストールする必要がある場合は、アンインストールを開始する前に、カメラがコンピュータに接続されていないことを確認してください。

### 関連トピック

- [オーディオ デバイスとビデオ デバイスの指定、1-9 ページ](#)
- [Cisco Unified Personal Communicator でのビデオの使用、4-1 ページ](#)
- [カメラまたはビデオに関する問題、10-19 ページ](#)

## 非互換プログラムの終了

次のプログラムが稼働中の場合は、終了させます。

- Cisco IP Communicator
- Cisco Unified Video Advantage または Cisco VT Advantage

## ヘッドセットの設定

ソフトフォンでヘッドセットを使用する場合は、ヘッドセットに添付されている説明書に従ってください。



(注)

一部のデバイスに装備されている特殊ボタン(ヘッドセットからコールを開始するためのボタンなど)は、Cisco Unified Personal Communicator では機能しません。ほとんどの場合、音量ボタンやミュートボタンは機能します。

### 関連トピック

- [オーディオデバイスとビデオデバイスの指定、1-9 ページ](#)

## ログイン

### 始める前に

前のセクションの手順に従ってください。

リモートからログインする場合は、バーチャルプライベートネットワーク (VPN) などを使用して、まず企業ネットワークに接続する必要があります。

### 手順

**ステップ 1** システム管理者から次の情報を入手します。

- Cisco Unified Personal Communicator のユーザ名とパスワード。
- ログイン サーバの IP アドレス。

## ■ アプリケーションを設定する方法

- ステップ 2** Cisco Unified Personal Communicator を起動します。
- ステップ 3** ファイアウォールで Cisco Unified Personal Communicator をブロックするかどうかをたずねるウィンドウが表示されたら、[ ブロックの解除 ] をクリックします。
- ステップ 4** **ステップ 1** で入手した情報を入力します。通常、ユーザ名とパスワードの大文字と小文字は区別されます。
- 

**関連トピック**

- [ログインと起動に関する問題、10-2 ページ](#)
- [自動ログイン、1-8 ページ](#)
- [自動ログインと自動パスワード入力のキャンセル、1-8 ページ](#)

## ボイスメールの設定

Cisco Unified Personal Communicator からボイスメールにアクセスできるようにするには、この手順を実施します。

**手順**

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Personal Communicator に入力するボイスメール用のユーザ名とパスワードを、システム管理者から入手します。
- ステップ 2** [コンソール](#) 上部のメニュー バーで、[ ファイル ] > [ 設定 ] の順に選択します。
- ステップ 3** [ アカウント ] をクリックします。
- ステップ 4** Unity のログイン情報を入力します。システム管理者から 2 つのパスワードを支給された場合は、Cisco Unity Assistant ( Web ) のパスワードを入力します。
- ステップ 5** [ OK ] をクリックします。
-

### 関連トピック

- [ボイスメールへのアクセス、9-6 ページ](#)

## Web 会議の設定



(注) Web 会議には、だれでも参加できます。通常、Web 会議に参加するには、次の手順に従う必要があります。

### 手順

- ステップ 1** Cisco Unified Personal Communicator に入力する Web 会議用のユーザ名とパスワードを、システム管理者から入手します。
- ステップ 2** [コンソール](#) 上部のメニュー バーで、[ ファイル ] > [ 設定 ] の順に選択します。
- ステップ 3** [ アカウント ] をクリックします。
- ステップ 4** MeetingPlace のログイン情報を入力します。
- ステップ 5** [ OK ] をクリックします。

### 関連トピック

- [Cisco Unified Personal Communicator での Web 会議の使用、5-1 ページ](#)

## オプション設定を設定する方法

- [自動ログイン、1-8 ページ](#)
- [オーディオ デバイスとビデオ デバイスの指定、1-9 ページ](#)
- [呼び出しデバイスと音量の指定、1-10 ページ](#)
- [制御する電話の選択、1-11 ページ](#)
- [優先する連絡手段の指定、1-14 ページ](#)
- [自分の連絡先情報の指定、1-14 ページ](#)

## 自動ログイン

### 手順

- 
- ステップ 1** アプリケーションを起動します。
  - ステップ 2** ユーザ名とパスワードを入力します。
  - ステップ 3** [パスワードの保存] にチェック マークを付けます。
  - ステップ 4** (オプション)[自動ログイン] にチェック マークを付けます。
  - ステップ 5** [ログイン] をクリックします。
- 

### 関連トピック

- [ログイン、1-5 ページ](#)

## 自動ログインと自動パスワード入力のキャンセル

### 手順

- 
- ステップ 1** [コンソール](#) 上部のメニュー バーで、[ファイル] > [設定] の順に選択します。

**ステップ 2** [プロファイル] をクリックします。

**ステップ 3** [接続オプション] セクションでオプションのチェック マークを外します。

**ステップ 4** [OK] をクリックします。

---

#### 関連トピック

- [ログイン、1-5 ページ](#)

## オーディオ デバイスとビデオ デバイスの指定

**ソフト フォン** コールで使用するスピーカー、マイク、ビデオ デバイスを選択します。

#### 始める前に

[Cisco 製ビデオ カメラのインストールと設定、1-3 ページ](#)および[ヘッドセットの設定、1-5 ページ](#)の指示に従ってデバイスを設定してください。

#### 手順

---

**ステップ 1** 使用するデバイスを接続します。

**ステップ 2** [ファイル] > [設定] の順に選択します。

**ステップ 3** [音声 / ビデオ] をクリックします。

**ステップ 4** 該当するデバイスを選択します。

---



- (注)
- コール中にオーディオ設定を変更すると、一時的に音声途切れる場合があります。
  - ここで選択したデバイスがコール中に取り外されると、( [コントロールパネル] の [サウンドとオーディオ デバイス] で指定されている ) システムデフォルトのスピーカーまたはマイクに切り替えられます。
  - ビデオ デバイスが取り外され、オーディオ デバイスが使用可能である場合は、音声のみで会話が継続されます。オーディオ デバイスも使用できない場合は、コールが終了します。

## 呼び出しデバイスと音量の指定

コールの着信時にコンピュータの内蔵スピーカ、ヘッドセット、またはその他のオーディオ デバイスを介して Cisco Unified Personal Communicator からユーザに通知するかどうかを選択できます。

### 始める前に

使用するオーディオ デバイスを設定し、正しく動作することを確認してください。

### 手順

- ステップ 1** 使用するデバイスを接続します。
- ステップ 2** [ファイル] > [設定] の順に選択します。
- ステップ 3** [音声/ビデオ] をクリックします。
- ステップ 4** 呼び出しデバイスを選択します。
- ステップ 5** 音量スライダを使用して呼び出し音量を設定します。

**(注)**

- 音声ミュートされている場合、コールの着信時にソフトフォンの呼び出し音が聞こえない場合があります。
- 選択したデバイスが使用できなくなった場合は、システムデフォルトのオーディオデバイスから呼び出し音が再生されます。
- **デスクの電話**からは常に呼び出し音が聞こえます。

## 制御する電話の選択

Cisco Unified Personal Communicator は、デスクなどにある Cisco Unified IP Phone と組み合わせて使用することもできますが、**ソフトフォン**として単独で使用することも可能です。

**電話モード**が「ソフトフォン」に設定されている場合、**デスクの電話**も使用できますが、デスクの電話を使用して発信したコールは通信履歴に表示されません。

### 手順

**ステップ 1** **コンソール**上部のメニューバーで、[ファイル]>[電話モード]の順に選択します。

**ステップ 2** [デスクの電話]または[ソフトフォン]を選択します。



**(注)** ビデオを使用する場合は、[ソフトフォン]を選択します。

### 関連トピック

- [電話の選択に関する問題、10-7 ページ](#)
- [デスクの電話デバイスを使用できない、10-4 ページ](#)
- [関連付けるデスクの電話の選択、1-12 ページ](#)

## 関連付けるデスクの電話の選択

デフォルトでは、自分の机の上に設置された Cisco Unified IP Phone が Cisco Unified Personal Communicator に関連付けられた**デスクの電話**になります。

システム管理者がこの機能を有効にしている場合は、別の電話機を Cisco Unified Personal Communicator に関連付けることができます。たとえば、会議室の電話を一時的に自分のデスクの電話のように使用できます。

### 手順

**ステップ 1** Cisco Unified Personal Communicator に関連付ける電話機で、EM サービスにログインします。詳しくは、電話機のマニュアルを参照してください。


この電話機が自分専用に割り当てられている場合は、この手順を省略できます。

**ステップ 2** Cisco Unified Personal Communicator が実行されていない場合は、起動します。

**ステップ 3** [ファイル] > [電話モード] > [デスクの電話] の順に選択します。

**ステップ 4** **コンソール** 上部のメニュー バーで、[ファイル] > [電話モード] > [制御する電話の選択] の順に選択します。

**ステップ 5** リスト内の電話をクリックして選択します。次の表の情報を参考にして、リストに表示される電話を確認してください。

カラム番号	カラム名	説明
1	デバイスのステータス	現在関連付けられているデスクの電話には、この  アイコンが表示されます。
2	デバイスの種類	電話のモデルを確認するには、マウス ポインタをアイコン上に合わせます。

カラム番号	カラム名	説明
3	名前	後で電話を識別するためにこのフィールドを修正する方法は次のとおりです。  既存の名前を右クリックして、[ デバイス名の変更 ] を選択します。新しい名前を入力し、[ 保存 ] をクリックします。
4	デバイスの名前	電話の底面に貼られている MAC ラベルに印字されている番号です。
5	回線	この電話で利用できる電話番号（内線）です。



**(注)** 変更後に自分のデスクの電話を選択する場合は、[ デフォルトに戻す ] をクリックします。この手順の残りの部分は省略してください。

**ステップ 6** [ 変更 ] をクリックします。

**ステップ 7** [ 閉じる ] をクリックします。

**ステップ 8** 変更が有効になるまで、しばらく待ちます。



**(注)** すべての電話機をこの目的に使用できるわけではありません。 選択したい電話機を使用できない場合は、システム管理者に連絡してください。

### 関連トピック

- [制御する電話の選択、1-11 ページ](#)
- [希望するデスクの電話がリストに表示されない、10-7 ページ](#)
- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)

## 優先する連絡手段の指定

優先する連絡手段を選択すると、次の 2 つのことが決定されます。

- リスト内の名前をダブルクリックしたときに Cisco Unified Personal Communicator によって開始される通信の種類（電話やインスタントメッセージなど）
- 他のユーザが自分に連絡するとき使用する手段。

デフォルトで優先される連絡手段は電話です。

### 手順

---

**ステップ 1** [コンソール](#) 上部のメニュー バーで、[ ファイル ] > [ 優先する連絡手段 ] の順に選択します。

**ステップ 2** オプションを選択します。

---

### 関連トピック

- [自分の連絡先情報の指定、1-14 ページ](#)
- [他のユーザの優先する連絡手段の識別、8-4 ページ](#)

## 自分の連絡先情報の指定

自分が Cisco Unified Personal Communicator にログインしていて、他のユーザが Cisco Unified Personal Communicator 内のリストから自分に連絡するとき Cisco Unified Personal Communicator によって使用される電話番号と電子メール アドレスを指定できます。

優先する連絡先情報が指定されていない場合、または Cisco Unified Personal Communicator にログインしていない場合は、会社のディレクトリに登録されている連絡先情報が使用されます。

## 手順

---

**ステップ 1** コンソール上部のメニュー バーで、[ ファイル ] > [ 設定 ] の順に選択します。

**ステップ 2** [ プロファイル ] をクリックします。

**ステップ 3** 優先電話番号と電子メール アドレスを標準の形式で入力します。

優先連絡先情報を会社のディレクトリに登録されているメイン情報に戻すには、これらのフィールドを空白にします。

**ステップ 4** [ OK ] をクリックします。

---

## 関連トピック

- [優先する連絡手段の指定、1-14 ページ](#)

## 詳細なドキュメントの入手先

この製品には、次のドキュメントがあります。

### 『クイック スタート ガイド』

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/products_user_guide_list.html)

日本語マニュアルについては、Cisco.com 日本語マニュアル ページ ( [http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/) ) を参照してください。

### オンライン ヘルプ

Cisco Unified Personal Communicator の任意のメニュー バーで、[ ヘルプ ] > [ ヘルプ トピック ] の順に選択します。Web 会議のウィンドウで、[ ヘルプ ] メニューをクリックします。

### 最新のドキュメント (PDF 版)

このドキュメントの最新の英語版は、PDF ファイル形式で次の URL から入手できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/products_user_guide_list.html)

日本語マニュアルについては、Cisco.com 日本語マニュアル ページ ( [http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/) ) を参照してください。

### 英語以外のドキュメント

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/tsd\\_products\\_support\\_translated\\_end\\_user\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/tsd_products_support_translated_end_user_guides_list.html)

### アクセシビリティ情報

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/products_user_guide_list.html)

日本語マニュアルについては、Cisco.com 日本語マニュアル ページ ( [http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/) ) を参照してください。

この製品に関連する製品には、次のドキュメントがあります。

#### Cisco Unified MeetingPlace の Web 会議に関するドキュメント

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products_user_guide_list.html)

#### Cisco Unified MeetingPlace Express に関するドキュメント

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6533/products_user_guide_list.html)

#### Cisco Unified IP Phone (デスクの電話) に関するドキュメント

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)

#### IP Phone Messenger (IPPM) および Cisco Unified Presence ユーザ オプション Web ページに関するドキュメント

[http://cisco.com/en/US/products/ps6837/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://cisco.com/en/US/products/ps6837/products_user_guide_list.html)

#### Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページまたは Cisco Unified CallManager ユーザ オプション Web ページに関するドキュメント

[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)

#### 関連トピック

- [オンライン ヘルプへのアクセスに関する問題、10-28 ページ](#)

## Cisco 製品のセキュリティ概要

この製品には、輸入、輸出、譲渡、使用を規制する米国またはその他の国の法律の対象となる暗号化機能が含まれています。Cisco 暗号化製品の出荷は、暗号化機能を輸入、輸出、配布、または使用する第三者の権限を包含するものではありません。輸入者、輸出者、配布者、およびユーザには、米国およびその他の国の法律を遵守する責任があります。この製品を使用すると、適用される法律および規則を遵守することに同意したことになります。米国およびその他の国の法律を遵守できない場合は、この製品をすぐに返品してください。

Cisco 暗号化製品を規制する米国法の概要は、次の Web サイトで参照できます。<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg.html>。詳細については、[export@cisco.com](mailto:export@cisco.com) に電子メールでお問い合わせください。

## Cisco Unified Personal Communicator のアップグレード

### 手順

---

- ステップ 1** Cisco Unified Personal Communicator を終了します。
  - ステップ 2** コンピュータからカメラを取り外します。
  - ステップ 3** Cisco Unified Personal Communicator をインストールします。
  - ステップ 4** カメラ用のソフトウェアをインストールします。
- 

### 関連トピック

- [Cisco Unified Personal Communicator のインストール、1-2 ページ](#)
- [Cisco 製ビデオ カメラのインストールと設定、1-3 ページ](#)



# Cisco Unified Personal Communicator でのプレゼンスステータスの使用

---

- [プレゼンスステータスについて、2-2 ページ](#)
- [プレゼンスステータス アイコンの識別、2-3 ページ](#)
- [プレゼンスステータスの設定、2-5 ページ](#)
- [各セッション中のプレゼンスステータスの指定、2-7 ページ](#)
- [プレゼンスステータス オプションへのカスタムステータスメッセージの追加、2-9 ページ](#)
- [カスタムの外出中メッセージの表示、2-10 ページ](#)

## プレゼンス ステータスについて

プレゼンス ステータスは、社内のユーザ間で連絡を取り合うときに、相手が応対可能であるかどうかを示します。

プレゼンス ステータスはシステムによって自動的に判別することもできますが、ユーザが手動で指定することもできます。

他のユーザとの連絡は、プレゼンス ステータスに関係なく常に試行できます。



- デフォルトでは、各ユーザのプレゼンス ステータスはシステムによって自動的に判別されます。ユーザがコンピュータや電話機を使用している場合や、Microsoft Outlook の予定表に従って会議に出席している場合は、システムによって自動的にそれらのステータスが検出されます。
- 各ユーザは、基本設定を指定することによって、プレゼンス ステータスの判別に使用される要素を設定できます。
- また、システムによって自動的にステータスを判定する代わりに、手動でプレゼンス ステータスを選択することもできます。




### 関連トピック

- [プレゼンス ステータス アイコンの識別、2-3 ページ](#)
- [プレゼンス ステータスの設定、2-5 ページ](#)
- [各セッション中のプレゼンス ステータスの指定、2-7 ページ](#)
- [プレゼンス ステータス オプションへのカスタム ステータス メッセージの追加、2-9 ページ](#)

## プレゼンス ステータス アイコンの識別

### 手順

- ステップ 1** ユーザに現在関連付けられている **プレゼンス ステータス** アイコンを確認します。

プレゼンス ステータス	シンボル	説明
応対可能		ユーザは Cisco Unified Personal Communicator にログインしており、現在コンピュータまたは電話を使用しています。あるいは、ユーザ本人がステータスを [ 応対可能 ] に設定しました。
(複数)		ユーザは応対可能である可能性があります。ユーザ名の上にマウス カーソルを移動するとステータスが表示されます。
不在		ユーザ本人が、IP Phone Messenger または別の手段を使用して、ステータスを [ 不在 ] または [ サイレント ] に設定しました。
オフライン または不明		ユーザは Cisco Unified Personal Communicator にログインしていません。またはステータスを判別できません。会社のディレクトリに登録されているがプレゼンス ステータスを表示するように設定されていないユーザの場合は、このアイコンが表示されます。

- ステップ 2** 必要に応じて詳細を確認します。

- リスト内の名前の上にマウス カーソルを移動します。
- ユーザの連絡先情報を確認します。

**ヒント**

自分のプレゼンス ステータスを確認するには、メイン [コンソール](#)の連絡先リストの上にあるドロップダウン リストを確認します。

---

**関連トピック**

- [Cisco Unified Personal Communicator でのプレゼンス ステータスの使用、2-1 ページ](#)
- [連絡先の詳細情報の表示、8-4 ページ](#)
- [プレゼンス ステータスに関する問題、10-10 ページ](#)

## プレゼンス ステータスの設定

Cisco Unified Personal Communicator が **プレゼンス ステータス** を判定するために使用する要素を指定する必要があります。

これらの設定は、Cisco Unified Personal Communicator にログインしているときには常に適用されます。これらの設定は、ユーザによって変更されるまで維持されます。

### 手順

**ステップ 1** **コンソール** 上部のメニュー バーで、[ ファイル ] > [ 設定 ] の順に選択します。

**ステップ 2** [ ステータス ] をクリックします。

**ステップ 3** オプションを選択します。

**ステップ 4** [ OK ] をクリックします。



(注)

- Outlook の予定表 (または Microsoft Exchange との通信に使用する Outlook Web Access などのツールの予定表) に登録された予定に基づいてプレゼンス ステータスを表示することもできます。デフォルト (メイン) 以外の予定表は評価されません。
- 予定表に基づいてプレゼンス ステータスを表示する場合は、Cisco Unified Personal Communicator にログインしていないときでも、予定表を使用してプレゼンス ステータスが判定されます。
- すべてのチェック ボックスのチェック マークを外し、[ 次の場合に「電話中」と表示する ] で [ なし ] を選択した場合は、セッション中に手動でステータスを変更しない限り、ステータスは常に [ 対応可能 ] と表示されます。
- Cisco Unified Personal Communicator 以外のアプリケーション (Cisco Unified Presence ユーザ オプション Web ページや [IP Phone Messenger](#) など) を介して指定したプレゼンス ステータス設定は、Cisco Unified Personal Communicator にも適用されます (逆の場合も同様です)。

**関連トピック**

- [Cisco Unified Personal Communicator でのプレゼンス ステータスの使用、2-1 ページ](#)
- [各セッション中のプレゼンス ステータスの指定、2-7 ページ](#)
- [カスタムの外出中メッセージの表示、2-10 ページ](#)
- [プレゼンス ステータスに関する問題、10-10 ページ](#)

## 各セッション中のプレゼンス ステータスの指定

表示するプレゼンス ステータスを手動で指定しない限り、**プレゼンス ステータス**は自動的に変更されます。手動で選択したステータスは、別のステータスに変更するか、Cisco Unified Personal Communicator からログアウトするまで表示され続けます。

### 手順

**ステップ 1** **コンソール**上部のメニュー バーで、[ ファイル ] > [ ステータス ] の順に選択します。

**ステップ 2** オプションを選択します。



(注)

- 手動選択をキャンセルして、現在の活動を自動的に反映させるには、[ 対応可能 ] を選択します。プレゼンス ステータスを判定するときにシステムに評価させたい活動が反映されるように設定されていることを確認してください。
- デフォルトでは、プレゼンス ステータス オプションのリストに表示される項目は [ 対応可能 ] と [ 不在 ] だけです。このリストには、カスタムのステータス メッセージを追加できます。
- カスタムのステータス メッセージを選択すると、プレゼンス ステータス インジケータには [ 対応可能 ] または [ 不在 ] が表示されます。現在表示されているメッセージを確認するには、インジケータの上にマウス カーソルを移動します。
- Cisco Unified Personal Communicator の他のユーザが [ 連絡先 ] リストまたは [ 通信履歴 ] リストで名前の上にマウス カーソルを移動すると、選択したカスタム メッセージが表示されます。

**関連トピック**

- [プレゼンス ステータスの設定、2-5 ページ](#)
- [プレゼンス ステータス アイコンの識別、2-3 ページ](#)
- [Cisco Unified Personal Communicator でのプレゼンス ステータスの使用、2-1 ページ](#)
- [プレゼンス ステータス オプションへのカスタム ステータス メッセージの追加、2-9 ページ](#)
- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)
- [プレゼンス ステータスに関する問題、10-10 ページ](#)

## プレゼンス ステータス オプションへのカスタム ステータス メッセージの追加

他のユーザに自分のプレゼンス ステータスに関する追加情報を提供するには、カスタム ステータス メッセージを作成します。これらのメッセージは、プレゼンス ステータス オプションのリストに追加されます。

### 手順

- ステップ 1** [ファイル]>[ステータス]>[ステータスメニューの編集]の順に選択します。
- ステップ 2** 追加するメッセージ カテゴリ ([ 対応可能 ] または [ 不在 ]) の下にある [ 追加 ] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** メッセージを入力します。
- ステップ 4** [ 保存 ] をクリックします。
- ステップ 5** [ 閉じる ] をクリックします。

プレゼンス ステータス オプションのリストにカスタム メッセージが追加されま  
す。

### 関連トピック

- [各セッション中のプレゼンス ステータスの指定、2-7 ページ](#)
- [カスタムの外出中メッセージの表示、2-10 ページ](#)

## カスタムの外出中メッセージの表示

このメッセージはログアウト後も表示され続けます。

### 手順

- ステップ 1 [コンソール](#) 上部のメニュー バーで、[ ファイル ] > [ 設定 ] の順に選択します。
- ステップ 2 [ ステータス ] をクリックします。
- ステップ 3 [ すぐに「オフライン」と表示して、次のメッセージを表示する ] にチェックマークを付けます。
- ステップ 4 表示するメッセージを入力します。
- ステップ 5 [ OK ] をクリックします。



(注) 次回のログイン時に、外出中メッセージを無効にするかどうかをたずねられません。

### 関連トピック

- [プレゼンス ステータス オプションへのカスタム ステータス メッセージの追加](#)、2-9 ページ



# Cisco Unified Personal Communicator を使用した 会話

---

- [会話について、3-2 ページ](#)
- [コールの開始方法、3-3 ページ](#)
- [着信コールに対する応答、3-9 ページ](#)
- [処理中の会話を操作する方法、3-11 ページ](#)

## 会話について

次のメディアを使用して会話できます。

メディア	詳細情報の参照先
音声	この章。
ビデオ	<a href="#">第 4 章「Cisco Unified Personal Communicator でのビデオの使用」</a>
Web 会議	<a href="#">第 5 章「Cisco Unified Personal Communicator での Web 会議の使用」</a>

同時に、次のことが行えます。

- 1 つのアクティブな会話。
- 複数の会話の保留（システムの設定によっては、アクティブ コールと保留コールが同時に 1 つずつしか許可されない場合もあります）。
- 複数のユーザによる 1 つの会話（会議コール）。

### 関連トピック

- [第 6 章「Cisco Unified Personal Communicator を使用した会議コールのホスティング」](#)
- [第 7 章「Cisco Unified Personal Communicator を使用したメッセージの送信」](#)

## コールの開始方法

音声による会話を開始するには、状況に応じて次のいずれかの方法を使用します。

- [コンソールにリストされているユーザへのコール、3-3 ページ](#)
- [任意の番号へのコール、3-4 ページ](#)
- [Cisco Unified Personal Communicator を使用して Microsoft Outlook からダイヤルする方法、3-5 ページ](#)



(注)

Cisco Unified Personal Communicator が実行されているかどうかにかかわらず、[デスクの電話](#)からは常にダイヤルできます。

## コンソールにリストされているユーザへのコール

相手のユーザが優先電話番号を指定していて、現在 Cisco Unified Personal Communicator にログインしている場合は、この手順を実施すると優先電話番号がダイヤルされます。それ以外の場合、この手順を実施すると、会社のディレクトリでそのユーザに登録されているメインの電話番号がダイヤルされます。

### 手順

**ステップ 1** 名前またはエント리를クリックします。

**ステップ 2**  をクリックします。



ヒント

- [優先する連絡手段](#)が [ 電話 ] に設定されている場合は、名前または番号をダブルクリックすることで、コンソール内の任意のリストに表示されているユーザにコールを発信できます。
- 相手の優先連絡手段が [ 電話 ] と表示されている場合は、Shift キーを押しながら名前をダブルクリックすることで、そのユーザにコールを発信できます。


### 関連トピック

- [連絡先の検索、8-2 ページ](#)
- [他のユーザの優先する連絡手段の識別、8-4 ページ](#)
- [コールの発信に関する問題、10-11 ページ](#)
- [任意の番号へのコール、3-4 ページ](#)
- [ビデオの表示、4-4 ページ](#)

## 任意の番号へのコール

相手が**コンソール**のリストに含まれず、検索しても見つからない場合は、**ダイヤルパッド**を使用してコールを発信できます。

### 手順


**ステップ 1** コンソール内で  をクリックします。

**ステップ 2** 電話番号を入力します。

**デスクの電話**からダイヤルする場合と同じように番号を入力します。たとえば、社外にコールを発信するときに番号の前に9などをダイヤルする必要がある場合もあります。



**ヒント** コピー アンド ペーストで番号を入力することもできます。

**ステップ 3** ダイヤルパッドで  をクリックします。



### ヒント

- 最後にコールした番号をリダイヤルするには、コンソール上部のメニューバーで、[ 操作 ] > [ リダイヤル ] の順に選択します。
- 音声指示に応答するために番号を押す方法には、[プッシュホン応答の入力、3-11 ページ](#)を参照してください。

### 関連トピック

- [連絡先の検索、8-2 ページ](#)

## Cisco Unified Personal Communicator を使用して Microsoft Outlook からダイヤルする方法


デフォルトでは、Cisco Unified Personal Communicator をインストールすると、Microsoft Outlook にアドオンがインストールされます。Outlook を使用している場合は、標準の Outlook ツールバーの下に Cisco Unified Personal Communicator ツールバーが表示されます。

ツールバーがインストールされると、Cisco Unified Personal Communicator を使用して Outlook の連絡先リストに登録されているユーザにダイヤルしたり、電子メール メッセージの送信者や受信者にダイヤルしたりすることができるようになります。ダイヤルする相手が Outlook の連絡先リストに含まれていない場合は、その相手の Outlook 連絡先カードを簡単に作成できます。

番号をダイヤルしたときに Cisco Unified Personal Communicator が実行されていなかった場合は、自動的に起動されます。



### ヒント

Cisco Unified Personal Communicator を起動したり、番号をダイヤルせずに Cisco Unified Personal Communicator を手前に表示するには、ツールバーの左端にある  をクリックします。

- [電子メール送信者、受信者、または Outlook の連絡先へのダイヤル、3-6 ページ](#)
- [Outlook から任意の番号へのダイヤル、3-7 ページ](#)

## 電子メール送信者、受信者、または Outlook の連絡先へのダイヤル

### 手順

**ステップ 1** 次の方法で、コールする相手を Outlook で選択します。

- [受信トレイ] または [送信済みアイテム] のリストで電子メールメッセージをクリックします。
  - [受信トレイ] の場合は、送信者が選択されます。
  - [送信済みアイテム] の場合は、[宛先] リストの 1 番目の人物が選択されます。
- Outlook の連絡先リスト内で連絡先をクリックします。

**ステップ 2** Cisco Unified Personal Communicator ツールバーに表示されるオプションに従って、次のいずれかを実行します。

- [コール ...] をクリックし、番号を入力して、[ダイヤル] をクリックします。デフォルトでは、この操作を実行すると、その人物と電話番号の Outlook 連絡先カードも作成されます。[ビジネス] をクリックすると、電話番号の種類を選択できます。
- ツールバーの名前の右側で、電話番号の種類 (ビジネスなど) をクリックします。
- 上で説明した電話番号の種類の下側にある矢印をクリックして、ダイヤルする Outlook 連絡先カードから別の番号を選択します。



### ヒント

- ログインしないとコールを発信できない場合もあります。
- ダイヤルする番号は、**デスクの電話** からダイヤルする場合と同じ形式になっている必要があります。
- 一度ダイヤルした番号は、別の番号を選択するまで、Outlook からその人物にコールを発信する場合のデフォルトの電話番号になります。
- 複数の受信者が指定されているメッセージをクリックした場合は、Cisco Unified Personal Communicator ツールバーで名前をクリックして他の受信者を選択できます。

- Outlook の連絡先リストでいずれかの連絡先を右クリックして[ Cisco Unified Personal Communicator を使用するコール ]を選択し、ダイヤルする番号を選択することもできます。
  - コールを発信せずに特定の人物を Outlook の連絡先リストに追加するには、[ 受信トレイ ] または [ 送信済みアイテム ] 内でメッセージをクリックし、Cisco Unified Personal Communicator ツールバーで名前をクリックして [ Outlook 連絡先の作成 ] を選択します。
- 

### 関連トピック

- [Cisco Unified Personal Communicator を使用して Microsoft Outlook からダイヤルする方法、3-5 ページ](#)
- [Outlook からのコール：セキュリティ警告が表示される、10-11 ページ](#)

## Outlook から任意の番号へのダイヤル

### 手順

---

**ステップ 1** 次のいずれかの方法を使用して、ツールバーの [ 直接ダイヤル ] ボックスに電話番号を入力します。

- 電話番号を入力します。
- 電子メール メッセージのテキストなどから電話番号をコピー アンド ペーストします。
- [ 直接ダイヤル ] ボックスの横にある矢印をクリックして既存の番号を選択します。

**ステップ 2** Enter キーを押します。

---

**ヒント**

[ 直接ダイヤル ] ボックスとドロップダウン リストの番号を消去するには、ボックスの横にある矢印をクリックして [ すべての項目のクリア ] を選択します。


**関連トピック**

- [Cisco Unified Personal Communicator を使用して Microsoft Outlook からダイヤルする方法、3-5 ページ](#)
- [Outlook からのコール：セキュリティ警告が表示される、10-11 ページ](#)

## 着信コールに対する応答

コールが着信したときに Cisco Unified Personal Communicator がコンピュータで稼働中の場合は、コンピュータの画面にオプション付きのポップアップ通知が表示されます。

応答がなかったコールはすべてボイスメールに転送されます。

手順	方法
音声だけでコールに応答する。	<p>ソフトウェアを使用して応答するには、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ 応答 ] をクリックします。</li> </ul> <p>デスクの電話を使用して応答するには、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 通常の方法で Cisco Unified IP Phone に応答します。</li> </ul> <p> (注) いずれか一方の操作を実行してください(1つのコールに対して、両方の操作を実行しないでください)。</p>
音声とビデオでコールに応答する。	<p>[ ビデオ応答 ] をクリックします。</p> <p>発信者がビデオ コールとしてコールを開始していない場合、そのコールは音声だけになります。</p> <p>ビデオを使用する前に、4-3 ページに説明されている要件を満たしていない場合は、コールの相手は自分側に表示されますが、自分のイメージは相手側に表示されません。</p>

## ■ 着信コールに対する応答

手順	方法
コールをボイスメールへ転送する。	<p>[ ボイスメールへ転送 ] をクリックします。</p> <p>コールを転送するように選択したことは、発信者にはわかりません。</p> <p>デスクの電話からは呼び出し音が鳴り続ける場合があります。</p>
すでに通話中の場合に、新規コールに応答する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コールに応答します。</li> </ul> <p>既存のコールはすべて自動的に保留状態になります。ただし、ソフトフォンモードを使用していて、一方のコールにソフトフォンで応答し、他方のコールにデスクの電話で応答する場合は例外です。その場合は、両方のコールが同時にアクティブになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールをボイスメールへ転送します。</li> </ul>

**関連トピック**

- [呼び出しデバイスと音量の指定、1-10 ページ](#)
- [会話の保留と再開、3-12 ページ](#)
- [ビデオの表示、4-4 ページ](#)
- [着信コールの問題、10-12 ページ](#)

## 処理中の会話を操作する方法

- [プッシュホン応答の入力](#)、3-11 ページ
- [会話の保留と再開](#)、3-12 ページ
- [コールの転送](#)、3-12 ページ
- [コールの音量の変更](#)、3-13 ページ
- [会話の参加者の表示](#)、3-14 ページ
- [会話の終了](#)、3-14 ページ

### プッシュホン応答の入力

ソフトフォンでの通話中に、オプションを選択したり、パスワードなどの番号を入力するように音声で指示された場合は、次の手順に従ってください。

#### 手順

---



**ステップ 1** [会話ウィンドウ](#)がアクティブなウィンドウであることを確認します。

**ステップ 2** 番号を入力します。

標準のキー入力音が聞こえない場合は、会話ウィンドウのタイトルバーをクリックして会話ウィンドウをアクティブにし、再度試行します。

---

## 会話の保留と再開

手順	方法	注
会話を保留する	<ol style="list-style-type: none"> <li>保留するコールをクリックして、アクティブな会話ウィンドウにします。</li> <li> をクリックします。</li> </ol>	複数の Web 会議ウィンドウを、アクティブなままにしておくことができます。
保留中のコールを再開する	保留中の会話ウィンドウで  をクリックします。	保留中の会話を再開すると、他のアクティブな会話は自動的に保留状態にされます。

### 関連トピック

- [コールの結合、6-3 ページ](#)

## コールの転送

コールを転送するには、コールを結合する場合と同じ手順を使用します。自分自身、転送するコールの発信者、およびコールの転送先のユーザを含む電話会議を作成します。すべての通話者が会話に参加した後、自分の電話を切れば、残りの通話者は会話を続けることができます。

### 関連トピック



- [コールの結合、6-3 ページ](#)

## コールの音量の変更



(注) 電話モードが [ デスクの電話 ] に設定されている場合は、電話機に付属するマニュアルを参照してください。

### アクティブな電話がソフトフォンの電話の場合

手順	方法
参加者に聞こえないように音声をミュートする	<p>アクティブな会話ウィンドウで  をクリックします。</p> <p>音声のミュートを解除するには、ボタンを再度クリックします。</p>
	<p> (注) コールの音声をミュートしてから保留状態にした後、保留中のコールを再開した場合、音声ミュートは自動的に解除されます。</p>
音量を変更する	アクティブな会話ウィンドウで音量スライダをドラッグします。
自分の声が参加者に聞こえやすくなるように音量を変更する	口元からマイクまでの距離を調節します。

### 関連トピック

- [オーディオ デバイスとビデオ デバイスの指定、1-9 ページ](#)
- [音声が聞こえない、10-13 ページ](#)
- [自分の声が他の参加者に聞こえない、または音質が悪い、10-15 ページ](#)

## 会話の参加者の表示

参加者リストには、音声とビデオで会話に参加している参加者が表示されます。ディレクトリまたは連絡先一覧に参加者が含まれている場合は、名前が表示されます。そうでない場合は、電話番号が表示されます。

会話ウィンドウで  をクリックします。



### ヒント

リスト内の名前を右クリックして、操作を実行します。

## 会話の終了

### 手順

**ステップ 1** コールが保留中の場合は、コールを再開します。

再開しないままコールを終了すると、その通話を切った後も、相手は保留されたままになります。

**ステップ 2** 会話ウィンドウで  をクリックします。



### (注)

会議コールに参加していて電話を切った場合、会議の他の参加者は会話を続けられます。

### 関連トピック

- [会話の保留と再開、3-12 ページ](#)
- [Cisco Unified Personal Communicator を使用した会議コールのホスティング、6-1 ページ](#)

## 会話ウィンドウのクローズ

アクティブな会話ウィンドウを閉じると、コールが終了します。

会話ウィンドウを閉じる際の設定を指定できます。

### 手順

---

**ステップ 1** [ファイル]>[設定]の順に選択し、[プロファイル]をクリックして、次のオプションを選択します。

- 切断時に会話ウィンドウを閉じる
- アクティブな会話ウィンドウを閉じる前に警告を表示する

**ステップ 2** [OK] をクリックします。

---





CHAPTER

4

# Cisco Unified Personal Communicator でのビデオの使用

---

- [ビデオ会話について、4-2 ページ](#)
- [ビデオを使用する前に、4-3 ページ](#)
- [ビデオの表示、4-4 ページ](#)
- [進行中のビデオ会話の操作、4-5 ページ](#)

## ビデオ会話について

ビデオ会議には次のような特徴があります。

- 着信したビデオを表示するのにカメラは必要ありません。
- ビデオを使用した場合、ビデオ カメラを持っていないユーザの画像は表示できませんが、自分の画像はそれらのユーザに表示されます。
- 発信者と着信者は、それぞれビデオを使用するか音声だけを使用するかを決定できます。
- 適用される要件があります。 [ビデオを使用する前に、4-3 ページ](#)を参照してください。

次のようなユーザとの会話中には、ビデオ画像を表示できます。

- Cisco Unified Personal Communicator を使用していて、ビデオを使用するように設定しているユーザ
- Cisco Unified Video Advantage 2.0 を使用するユーザ
- Cisco Unified IP Phone モデル 7985 を使用するユーザ
- Cisco IPVC または Cisco Unified Videoconferencing 製品に接続されているビデオ エンドポイントを使用するユーザ
- Cisco Unified MeetingPlace または MeetingPlace Express ビデオ会議の他の参加者

## ビデオを使用する前に



ビデオ画像を転送するための要件は次のとおりです。

- ビデオを使用するように設定する必要があります。
- Cisco Unified Personal Communicator の設定でビデオ カメラを指定します。
- 最適な画質を得るためには、無線接続ではなく有線接続を使用します。
- Cisco Unified Video Advantage または Cisco VT Advantage が実行されていないことを確認してください。
- [電話モード] をソフトフォンに設定する必要があります。
- カメラが正しく動作するかどうかを確認する必要があります。

### 関連トピック

- [ビデオ会話について、4-2 ページ](#)
- [Cisco 製ビデオカメラのインストールと設定、1-3 ページ](#)
- [オーディオデバイスとビデオデバイスの指定、1-9 ページ](#)
- [制御する電話の選択、1-11 ページ](#)
- [ビデオの表示、4-4 ページ](#)



## ビデオの表示

手順	方法
自分自身のビデオ画像を表示する	<p>コンソール上部のメニューバーで、[ 表示 ] &gt; [ ローカルビデオの表示 ] の順に選択します。</p>
ビデオ会話を開始する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビデオを使用する準備が整っているかどうかを確認します。</li> <li>2. コンソール内で名前またはエントリをクリックした後に、 をクリックします。</li> </ol> <p>相手がビデオを使用してコールに 응답しない場合、コールは音声だけのコールとして接続されます。</p>
音声会話にビデオを追加する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビデオを使用する準備が整っているかどうかを確認します。</li> <li>2. アクティブな会話ウィンドウで  をクリックします。</li> </ol> <p>相手のビデオ画像が表示されない場合は、相手がカメラを持っていないか、ビデオを受け入れなかったか、ビデオの受信だけを受け入れた可能性があります。</p> <p>電話会議の場合は、ビデオを追加する各参加者がこの操作を実行する必要があります。</p>

### 関連トピック

- [ビデオ会話について、4-2 ページ](#)
- [ビデオを使用する前に、4-3 ページ](#)
- [進行中のビデオ会話の操作、4-5 ページ](#)
- [カメラまたはビデオに関する問題、10-19 ページ](#)
- [コールの発信に関する問題、10-11 ページ](#)

## 進行中のビデオ会話の操作

手順	方法
他の参加者に表示される自分のビデオイメージを静止（一時停止）または再開する	アクティブな会話ウィンドウで  をクリックします。  自分自身に表示される自分のイメージは静止されません。
<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者に聞こえないように自分の音声をミュートする</li> <li>音量を変更する</li> <li>自分の声が参加者に聞こえやすくなるように音量を変更する</li> </ul>	コールの音量の変更、3-13 ページを参照してください。
ビデオを削除して音声だけで会話を継続する  この操作を実行すると、すべての参加者が影響を受けます。	会話ウィンドウで  をクリックします。



**(注)**

Cisco Unified MeetingPlace または Cisco Unified MeetingPlace Express の会議に参加している間にビデオを使用する場合は、各製品のマニュアルで会議中の機能に関する情報を参照してください。

### 関連トピック

- [処理中の会話を操作する方法、3-11 ページ](#)





# Cisco Unified Personal Communicator での Web 会議の使用

---

- [Web 会議について、5-1 ページ](#)
- [会話への Web 会議と Web 参加者の追加、5-2 ページ](#)
- [進行中の Web 会議セッションの操作、5-4 ページ](#)
- [標準的な Web 会議との比較、5-6 ページ](#)

## Web 会議について

Web 会議を導入している企業では、Web 会議を会話に追加できます。


Web 会議では、自分のコンピュータ上にドキュメントやアプリケーションを表示して、会議の参加者に見せることができます。すべての会議参加者は、共有コンテンツ上のホワイトボードや透過的なオーバーレイ上に文字を書いたり描画したりできるので、オリジナルのドキュメントをそのままの状態でも維持できます。

Cisco Unified MeetingPlace Express の Web 会議または Cisco Unified MeetingPlace の Web 会議に精通している場合は、[標準的な Web 会議との比較、5-6 ページ](#)を参照してください。

## 会話への Web 会議と Web 参加者の追加

Cisco Unified Personal Communicator を使用している会話の参加者は、自動的に Web 会議に加えられます。

### 手順

- 
- ステップ 1** Web 会議を使用する準備が整っているかどうかを確認します。[Web 会議の設定、1-7 ページ](#)を参照してください。
- ステップ 2** アクティブな会話ウィンドウで  をクリックします。
- ステップ 3** ユーザ名とパスワードの入力を求められた場合は、Cisco Unified MeetingPlace または MeetingPlace Express アプリケーションで使用しているユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 4** Cisco Unified Personal Communicator を使用していない会話参加者がいる場合、または Web 会議を追加した後に参加した新しい参加者に Web 会議が表示されない場合は、次を手順を実施します。
- アクティブな会話ウィンドウで、[ 参加者の招待 ] ボタンをクリックします。
  - [ 電子メールの送信 ] をクリックします。
  - Web 会議に加える参加者の電子メール アドレスを追加します。
  - 電子メールを送信します。
  - 送信した電子メール メッセージ内のリンクをクリックするように受信者に伝えます。
  - [ 参加者の招待 ] ウィンドウを閉じます。
- ステップ 5** 自分自身の画面と Cisco Unified Personal Communicator を使用しているすべての会話参加者の画面に Web 会議ウィンドウが表示されるまで、数分間待ちます。
-






(注) ウィンドウを閉じるかどうかをたずねるウィンドウが表示されたら、[ はい ] をクリックします。この操作により不要な補助ウィンドウが閉じられます。

#### 関連トピック

- [進行中の Web 会議セッションの操作、5-4 ページ](#)
- [Web 会議の問題、10-23 ページ](#)

## 進行中の Web 会議セッションの操作

手順	方法
Web 会議のヘルプを表示する。	<p>会議中：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Web 会議ウィンドウの上部にあるメニューバーの [ ヘルプ ] メニューから適切なオプションを選択します。</li> </ul> <p>常時：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><a href="#">詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ</a>を参照してください。</li> </ul> <p> (注) Cisco Unified MeetingPlace Express のドキュメントで使用されている「share-only web meeting(共有専用の Web 会議)」という用語は、このドキュメントの「Web 会議」と同じ意味です。</p>
Web 会議に新たなユーザを加える。	<p><a href="#">会話への Web 会議と Web 参加者の追加、5-2 ページ</a>を参照してください。</p>
ブラウザのウィンドウを閉じてしまった場合に、進行中セッションの Web 会議ウィンドウを再度開く。	<p>アクティブな<a href="#">会話ウィンドウ</a>で [ Web 会議に再参加 ] ボタンをクリックします。</p> <p> (注) <a href="#">会話への Web 会議と Web 参加者の追加、5-2 ページ</a>で説明されている方法を使用して Web 会議を再度追加しないでください。この方法を使用して Web 会議を再度追加すると、参加者が別々の Web 会議セッションに分割される場合があります。</p>

手順	方法
Web 会議セッションを終了する。	<p data-bbox="653 237 1241 302">アクティブな会話ウィンドウで [ Web 会議の終了 ] ボタンをクリックします。</p> <p data-bbox="653 326 1241 391">この操作を実行できるのは、Web 会議を追加したユーザだけです。</p> <p data-bbox="653 415 700 456"></p> <p data-bbox="653 464 1241 521"><b>(注)</b> 電話会議が終了しても Web 会議セッションは終了しません。</p>

### 関連トピック

- [Web 会議の問題、10-23 ページ](#)

## 標準的な Web 会議との比較



(注) このセクションでは、Cisco Unified MeetingPlace Express または Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing に精通しているお客様だけに役立つ情報を提供します。

Cisco Unified Personal Communicator の会話に追加した Web 会議には、Cisco Unified MeetingPlace Express または Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing で開始した Web 会議で利用できる機能のサブセットが含まれます。

Cisco Unified Personal Communicator の会話に追加した Web 会議には、常に、次のような特性があります。

- 共有および注釈付け機能、ホワイトボード機能、接続および画面管理機能だけを利用できます。参加者リスト機能、ダイヤル機能、チャット機能は、Cisco Unified Personal Communicator アプリケーションを介して利用できます。
- 会議への参加には Cisco Unified MeetingPlace Express または Cisco Unified MeetingPlace のパスワードと**プロファイル**は不要です。ただし、Web 会議を追加する場合には**プロファイル**が必要になる場合があります。
- Cisco Unified Personal Communicator での会話、または会話からの URL を介してのみ、Web 会議に参加できます。Cisco Unified MeetingPlace Express または Cisco Unified MeetingPlace の Web ページや Cisco Unified IP Phone のサービスを介して、Web 会議を見つけたり、参加したりすることはできません。
- Web 会議の開始者を含むすべての会議参加者には、少なくともプレゼンタ権限が付与されます。
- 会議の通知はありません。
- Cisco Unified MeetingPlace Express または Cisco Unified MeetingPlace の**プロファイル**設定は、Cisco Unified Personal Communicator を介して追加した Web 会議には適用されません。ただし、**プロファイル**で指定されている課金コードに対して実施された会議の費用を課金するように設定されている場合は、この設定が適用されます。
- 事前に会議のスケジュールを作成する必要はありません。

- Web 会議の言語は常に、会議を開始したユーザの言語になります。Web 会議機能で利用できる言語は、Cisco Unified Personal Communicator アプリケーションの他の機能で利用できる言語とは異なります。会議を開始したユーザの言語が使用できない場合は、英語で表示されます。

Cisco Unified MeetingPlace Express または Cisco Unified MeetingPlace のすべての Web 会議機能を利用する必要があり、いずれかのアプリケーションにプロファイルが存在する場合は、Cisco Unified Personal Communicator ではなく Web 会議アプリケーションから会議を直接開始することを検討してください。

詳しくは、Cisco Unified MeetingPlace Express または Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のオンライン ヘルプ、または[詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)に記載されている関連製品のドキュメントを参照してください。

■ 標準的な Web 会議との比較



# Cisco Unified Personal Communicator を使用した 会議コールのホスティング

---

会話を結合して会議コールを作成できます。

- [コールの結合について、6-2 ページ](#)
- [コールの結合、6-3 ページ](#)

## コールの結合について

複数のコールを結合して、複数の会話を 1 つの会議コールにまとめることができます。

結合できる対象は次のとおりです。

- 2 つの会話（自分自身に加えて、それぞれの会話にもう 1 人の人物がいる場合）
- 1 人の人物との会話と会議コール
- 連続的に複数の会話を 1 つの会議コールに結合



(注)


- [ マージ ] ボタンが利用可能になるのは、複数のコールが進行している場合だけです。このボタンは、アクティブな会話（保留中ではない会話）の **会話ウィンドウ** 内でだけ利用可能になります。
- Web 会議を含んだコールを結合する場合、コールを結合するときに、Web 会議を含んだ会話がアクティブな会話になっていないことを確認してください。
- 2 つのコールを結合した後にコールを切断した場合、その他の参加者は会議コールを続行できます。
- 新しい参加者を結合できるのは、最初に複数のコールを結合して会議コールを作成したユーザのみです。したがって、会議コールを終了すると、その会議コールには再度参加できなくなります。（場合によっては、この警告は無視してください。）
- ビデオを含むコールも結合できます。

## コールの結合

### 始める前に

少なくともアクティブなコールが 1 つ存在し、保留中のコールが 1 つ存在している必要があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** 維持する会話を選択して保留にします。たとえば、ある会話に Web 会議または複数の参加者が含まれている場合は、その会話を保留にします。
  - ステップ 2** 保留中のコールに結合する会話をアクティブにします。
  - ステップ 3** アクティブな会話ウィンドウで  をクリックします。
  - ステップ 4** オプションが表示された場合は、結合先のコールを選択します。
  - ステップ 5** 会議コールに Web 会議が含まれていて、新しい参加者に Web 会議が表示されない場合は、新しい参加者を Web 会議に招待します。
  - ステップ 6** 必要に応じてこの手順を繰り返して、新しい参加者を追加します。
- 

### 関連トピック

- [会話の保留と再開、3-12 ページ](#)
- [会話への Web 会議と Web 参加者の追加、5-2 ページ](#)
- [コールを結合できない、10-18 ページ](#)





CHAPTER

7

# Cisco Unified Personal Communicator を使用した メッセージの送信

---

- [インスタントメッセージの送信、7-2 ページ](#)
- [電子メールメッセージの送信、7-4 ページ](#)

## インスタントメッセージの送信



(注) 組織によっては、Cisco Unified Personal Communicator を使用してインスタントメッセージを送信できない場合があります。

### 手順

**ステップ 1** リスト内の名前をクリックします。

**ステップ 2**  をクリックします。

**ステップ 3** メッセージを入力します。

**ステップ 4** Enter キーを押します。



- (注)
- 組織によっては、会社のディレクトリや連絡先リストに登録されている一部のユーザにインスタントメッセージを送信できないように Cisco Unified Personal Communicator が設定されている場合があります。
  - メッセージの受信者が Cisco Unified Personal Communicator にログインしていないときでも、[IP Phone Messaging](#) を使用するように設定されている場合は、受信者の Cisco Unified IP Phone にメッセージが送信される場合があります。それ以外の場合、プレゼンスステータスが [ オフライン ] や [ 不在 ] になっているユーザへはインスタントメッセージを送信できません。
  - 優先する連絡手段が [ インスタントメッセージ ] に設定されている場合は、名前をダブルクリックすることで、コンソール内の任意のリストに表示されているユーザにメッセージを送信できます。
  - 優先する連絡手段が [ インスタントメッセージ ] と表示されている別のユーザにメッセージを送信するには、Shift キーを押しながらそのユーザの名前をダブルクリックします。

### 関連トピック

- [インスタントメッセージに関する問題、10-25 ページ](#)
- [メッセージ オプションの選択、7-3 ページ](#)
- [メッセージの保存、7-4 ページ](#)

## メッセージ オプションの選択

### 手順

- 
- ステップ 1** [コンソール](#) 上部のメニュー バーで、[ ファイル ] > [ 設定 ] の順に選択します。
- ステップ 2** [ インスタントメッセージ ] をクリックします。
- ステップ 3** オプションを選択します。
- ステップ 4** [ OK ] をクリックします。
- 



### ヒント

- メッセージ ウィンドウの上部にあるメニュー バーからオプションを選択することもできます。
  - 現在のインスタントメッセージ ウィンドウに適用されるオプションもありますが、新しいメッセージ ウィンドウを開いたときに適用されるオプションもあります。
  - テキストの書式を変更した場合に、標準の書式に戻すには、[ 書式 ] > [ デフォルトの書式設定に戻す ] の順に選択します。
-

## メッセージの保存

現在開かれているインスタント メッセージ ウィンドウ内のテキストを保存できます。

### 手順

---

**ステップ 1** 保存するメッセージ セッションのメニュー バーで、[ ファイル ] > [ 名前を付けて保存 ] の順に選択します。

**ステップ 2** (オプション) ファイルの名前と場所を変更します。

---

## 電子メール メッセージの送信

会社のデフォルトとして設定された電子メール アドレス、または選択した相手の優先電子メール アドレスを宛先とした、ブランクの電子メール メッセージを開くことができます。

Cisco Unified Personal Communicator にログインしていないユーザに電子メール メッセージを送信できます。ただし、そのユーザの優先電子メール アドレスは使用されません。

### 手順

---

**ステップ 1** 名前を右クリックします。

**ステップ 2** [ 電子メールの送信 ] を選択します。

---



# Cisco Unified Personal Communicator での連絡先の管理

---

- [連絡先一覧について、8-1 ページ](#)
- [連絡先を操作する方法、8-2 ページ](#)
- [連絡先のグループの操作、8-7 ページ](#)

## 連絡先一覧について

個人の連絡先一覧には、会社のディレクトリから最大 100 名を追加できます。自分の連絡先一覧を表示できるのは自分だけです。自分の連絡先一覧はどのコンピュータから Cisco Unified Personal Communicator にログインしても表示されません。

Cisco Unified IP Phone で [Cisco IP Phone Messenger](#) 連絡先一覧に連絡先を追加した場合、それらの連絡先は Cisco Unified Personal Communicator の連絡先一覧に表示されます（逆の場合も同様です）。

コンピュータまたはネットワーク上のその他のアプリケーションからは、連絡先一覧の情報にアクセスできません。

### 関連トピック

- [連絡先を操作する方法、8-2 ページ](#)

## 連絡先を操作する方法

- [連絡先の検索、8-2 ページ](#)
- [一覧への連絡先の追加、8-3 ページ](#)
- [連絡先の詳細情報の表示、8-4 ページ](#)
- [他のユーザの優先する連絡手段の識別、8-4 ページ](#)
- [連絡先情報の修正、8-6 ページ](#)
- [一覧からの連絡先の削除、8-6 ページ](#)

## 連絡先の検索

基準に一致する連絡先を会社のディレクトリで検索できます。

### 手順

---

**ステップ 1** 検索ウィンドウ内のフィールドに検索基準を入力します。

氏名、姓、名、ユーザ ID、または電話番号の一部またはすべてを入力します。


検索では大文字と小文字は区別されません。また、入力した文字列は名前のどの位置にあっても検索されます。たとえば「and」で検索した場合、「Anderson」と「Cassandra」の両方が検出されます。多くの場合、ユーザ名は電子メールアドレスの一部で、「@」記号より前の部分になります。

**ステップ 2** Enter キーを押します。

---



### ヒント

検索を中止するには、 ボタンをクリックします。

---

### 関連トピック

- [検索結果の操作、8-3 ページ](#)
- [検索に関する問題、10-28 ページ](#)

## 検索結果の操作

手順	方法
検索結果のリストをソートする。	[ 検索 ] ウィンドウ内のカラム ヘッダーをクリックします。 もう一度クリックすると、逆順にソートされます。
検索結果のリストを消去する。	検索結果のリスト内の任意の名前を右クリックして、[ すべて消去 ] を選択します。

## 一覧への連絡先の追加

追加できる連絡先は、会社のディレクトリに存在している連絡先だけです。

### 手順

- ステップ 1** 追加するユーザを検索します。
- ステップ 2** 検索結果のリスト内の名前を右クリックします。
- ステップ 3** [ 連絡先をグループに追加する ] を選択します。
- ステップ 4** この連絡先を追加するグループを選択します。

まだ 1 つもグループを作成していない場合、選択できるグループは [ General ] グループのみです。



### ヒント

[ 通信履歴 ] リストから名前付きの連絡先を追加することもできます。

**関連トピック**

- [連絡先一覧について、8-1 ページ](#)
- [連絡先の検索、8-2 ページ](#)
- [連絡先のグループの操作、8-7 ページ](#)

**連絡先の詳細情報の表示**

表示対象	方法
基本情報	<a href="#">コンソール</a> にある名前の上にマウス ポインタを移動します。
詳細	リスト内の名前を右クリックして、[ 連絡先の詳細 ] を選択します。  [ 通信履歴 ] ウィンドウでは、名前付きの連絡先の詳細のみが表示されます。

ニックネームを除くすべての情報は、会社のディレクトリまたはユーザの優先する連絡先情報に基づいています。

**関連トピック**

- [Cisco Unified Personal Communicator でのプレゼンス ステータスの使用、2-1 ページ](#)
- [他のユーザの優先する連絡手段の識別、8-4 ページ](#)
- [自分の連絡先情報の指定、1-14 ページ](#)
- [連絡先情報の修正、8-6 ページ](#)





**他のユーザの優先する連絡手段の識別**

Cisco Unified Personal Communicator のユーザは、他のユーザが自分に連絡するときに優先的に使用してもらいたい手段( 電話やインスタント メッセージなど)を指定できます。他のユーザに連絡するときどの手段を使用すればよいかを判断するには、この情報を使用します。

## 手順

**ステップ 1** [連絡先一覧] の名前の右側にあるアイコンを確認します。

**ステップ 2** 次の表に記載されているアイコンの説明を参照してください。

アイコン	優先する連絡手段
	電話
	ビデオ
	電子メール
	インスタントメッセージ



(注)

- Cisco Unified Personal Communicator にログインしていないユーザの優先連絡手段は電話です。
- コンソール内のリストに表示されているユーザに優先する連絡手段を使用して連絡するには、Shift キーを押しながら名前をダブルクリックします。
- また、各ユーザは、自分への連絡に使用してほしい電話番号や電子メールアドレスも指定できます。[自分の連絡先情報の指定、1-14 ページ](#)を参照してください。

**関連トピック**

- [優先する連絡手段の指定、1-14 ページ](#)

**連絡先情報の修正**

手順	方法
ニックネームを追加する	連絡先を右クリックして [ 連絡先のニックネームの編集 ] を選択します。  自分が割り当てたニックネームは他のユーザには表示されません。
ニックネームを削除する	ニックネームを追加する手順に従った後、テキストを削除し、[ 保存 ] をクリックします。

**一覧からの連絡先の削除**

**(注)** [コンソール](#)内で連絡先が複数表示されている場合、各インスタンスを個別に削除する必要があります。

**手順**

**ステップ 1** エントリを右クリックします。

**ステップ 2** [ 削除 ] を選択します。

**関連トピック**

- [連絡先のグループの操作、8-7 ページ](#)
- [通信履歴のリストおよびアイテムの操作、9-4 ページ](#)
- [検索結果の操作、8-3 ページ](#)

## 連絡先のグループの操作

連絡先を組織化するために、グループを作成できます。

手順	方法	注
グループを作成する。	コンソール上部のメニュー バーで、 [ 操作 ] > [ 新規グループの作成 ] の順 に選択します。	—
グループに連絡先を移動またはコピーする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グループが存在しない場合は、グループを作成します。</li> <li>2. 連絡先を右クリックして[ 連絡先をグループに移動する ] または [ 連絡先をグループにコピーする ] を選択し、グループを選択します。</li> </ol>	1 つの連絡先を複数のグループに追加することもできます。
グループ名を変更する。	グループの名前を右クリックして、 [ グループ名の変更 ] を選択します。	<b>General</b> グループの名前は変更できません。
グループ内の連絡先を非表示または表示する	グループ名をクリックします。	—
グループを削除する。	グループ名を右クリックして、[ 削除 ] を選択します。	<p>グループを削除すると、そのグループ内の連絡先も削除されます。</p> <p>連絡先が複数のグループに所属している場合は、削除されたグループのインスタンスだけが削除されます。</p> <p><b>General</b> グループは削除できません。</p>

### 関連トピック

- [一覧への連絡先の追加、8-3 ページ](#)
- [一覧からの連絡先の削除、8-6 ページ](#)





# Cisco Unified Personal Communicator を使用した 通信履歴の操作

---

- [通信履歴について、9-2 ページ](#)
- [通信履歴のアイテムについて、9-3 ページ](#)
- [通信履歴のリストおよびアイテムの操作、9-4 ページ](#)
- [ボイスメールへのアクセス、9-6 ページ](#)

## 通信履歴について

コールの履歴は [ 通信履歴 ] ウィンドウに表示されるので、簡単にコールを確認して、コールを返したり、ボイスメールを再生できます。

[ 通信履歴 ] ウィンドウには受信したすべてのボイスメール メッセージと、最大 50 件の着信、発信、または不在コールが一覧表示されます。

新しいボイスメールは、録音後 1 分以内にリストに表示されます。

**デスクの電話**を使用して発信または応答したコールは、Cisco Unified Personal Communicator が稼働している場合にだけ、[ 通信履歴 ] のリストに表示されます。発信したコールは、**電話モード**がデスクの電話に設定されている場合にのみ表示されます。ボイスメールについては、これらに関係なく表示されます。

別のコンピュータからログインすると、そのコンピュータにログインしている間に発信および受信したコールだけが、そのコンピュータの通信履歴リストに表示されます。ボイスメールについては、これらに関係なく表示されます。





### 関連トピック

- [\[ 通信履歴 \] ウィンドウの問題、10-27 ページ](#)



## 通信履歴のアイテムについて

- イタリック表示のアイテムは処理中のアイテムで、しばらくすると利用可能になります。
- 未読のボイスメール アイテムは**太字**で表示されます。
- 削除されたアイテムのうち、まだ除去されていないアイテムは、削除されたアイテムのリストに取り消し線の付いたテキストで表示されます。

[ 通信履歴 ] リストの各アイテムの左にあるアイコンは、アイテムの種類を示しています。

アイコン	通信の種類
	ボイスメール メッセージ
	不在コール (着信)
	応答コール (着信)
	発信コール

## 通信履歴のリストおよびアイテムの操作

手順	方法
アイテムの通信の種類を確認する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ 通信履歴 ] ウィンドウの最初のカラムを確認します。アイコンによって通信の種類が識別されます。</li> <li>アイコンの意味については、<a href="#">通信履歴のアイテムについて、9-3 ページ</a>を参照してください。</li> </ol>
新規の不在コールまたはボイスメールの数を表示する。	<p>[ 通信履歴 ] ウィンドウの上部にあるアイコンを確認します。数字の右側にあるアイコンは種類を示しています。</p> <p>例：</p> <p>不在コール：  17</p> <p>ボイスメール：  1</p> <p>ボイスメールを再生したかどうかにかかわらず、「未読」アイテムを開くたびにカウントが調整されます。未読アイテムが存在しない場合、その種類のカウンタは表示されません。</p> <p>会社によっては、これらのインジケータに数字を表示しないように設定されている場合があります。アイコンが表示されている場合は、その種類の新規アイテムが少なくとも1つ存在することを示しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の種類の通信だけを表示する。</li> <li>削除されたアイテムを除くすべての通信履歴を表示する。</li> <li>削除された通信アイテムを表示する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li><a href="#">コンソール</a>上部のメニュー バーで、[ 表示 ] &gt; [ 通信履歴のフィルタの変更 ] の順に選択します。</li> <li>オプションを選択します。 削除されたアイテムを表示するには、[ 削除 ] を選択します。</li> </ol>
リストをソートする。	<p>ソートするカラム ヘッダーをクリックします。</p> <p>もう一度クリックすると、逆順にソートされます。</p>

手順	方法
アイテムの詳細を表示する。	[ 通信履歴 ] のリストのアイテムを右クリックして、[ 通信を開く ] を選択します。
アイテムを既読または未読にする。	1つ以上のアイテムを選択した後、右クリックして[ 既読にする ] または [ 未読にする ] を選択します。
アイテムを削除する。	次の方法で、アイテムに削除のマークを付けます。  アイテムを右クリックして、[ 削除 ] を選択します。  削除のマークを付けたアイテムを完全に削除する方法については、この表にある別の指示を参照してください。
アイテムの削除を取り消す。	1. <b>コンソール</b> 上部のメニュー バーで、[ 表示 ] > [ 通信履歴のフィルタの変更 ] > [ 削除 ] の順に選択します。  2. 右クリックして、[ 削除の取り消し ] を選択します。  すでに完全に削除されているアイテムは削除できません。
削除のマークが付けられたすべてのアイテムを完全に削除する。	1. <b>コンソール</b> 上部のメニュー バーで、[ 表示 ] > [ 通信履歴のフィルタの変更 ] > [ 削除 ] の順に選択します。  2. (オプション)[ 通信履歴 ] ウィンドウで、除去するアイテムを複数選択します。  3. 削除のマークが付いたアイテムを右クリックして、[ 削除した通信の除去 ] を選択します。

### 関連トピック

- [ボイスメールへのアクセス、9-6 ページ](#)
- [\[ 通信履歴 \] ウィンドウの問題、10-27 ページ](#)

## ボイスメールへのアクセス

会社の設定で許可されている場合は、Cisco Unified Personal Communicator でボイスメール メッセージの受信と再生が可能です。



(注)

削除したボイスメール メッセージを定期的に除去しない、Cisco Unified Personal Communicator の起動やボイスメールへのアクセスにかかる時間が非常に長くなる場合があります。通信履歴アイテムを完全に削除する方法については、[通信履歴のリストおよびアイテムの操作](#)、9-4 ページを参照してください。

手順	方法
ボイスメール メッセージのリストを表示する	[ 表示 ] > [ 通信履歴のフィルタの変更 ] > [ ボイスメール ] の順に選択します。
ボイスメール メッセージを再生する	リストにあるボイスメール アイテムを右クリックして、[ ボイスメールの再生 ] を選択します。
ボイスメールの再生を制御する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>最初まで巻き戻し</li> <li>巻き戻し</li> <li>再生</li> <li>一時停止</li> <li>早送り</li> <li>シーク (メッセージの特定の位置まで巻き戻し)</li> <li>再生音量の変更</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ 通信履歴 ] リストのボイスメール アイテムをダブルクリックします。</li> <li>適切なボタンをクリックするか、適切なスライダを動かします。 大きい方のスライダがシーク用のスライダです。</li> </ol>
削除したボイスメールを復元する。  ( 電話機と Cisco Unified Personal Communicator のどちらから削除したかには関係ありません )	通信履歴アイテムの削除を取り消す方法を参照してください。  削除したボイスメールを完全に除去すると、そのボイスメールは復元できなくなります。

### 関連トピック

- [ボイスメールの設定、1-6 ページ](#)
- [通信履歴について、9-2 ページ](#)
- [通信履歴のリストおよびアイテムの操作、9-4 ページ](#)
- [ボイスメールに関する問題、10-27 ページ](#)

■ ボイスメールへのアクセス



# CHAPTER 10

## トラブルシューティング Cisco Unified Personal Communicator

---

- [アプリケーションの設定に関する問題、10-2 ページ](#)
- [ログインと起動に関する問題、10-2 ページ](#)
- [一般的な問題、10-5 ページ](#)
- [電話の選択に関する問題、10-7 ページ](#)
- [コンソールの問題、10-8 ページ](#)
- [プレゼンス ステータスに関する問題、10-10 ページ](#)
- [コールの発信に関する問題、10-11 ページ](#)
- [着信コールの問題、10-12 ページ](#)
- [会話中の問題、10-13 ページ](#)
- [カメラまたはビデオに関する問題、10-19 ページ](#)
- [Web 会議の問題、10-23 ページ](#)
- [インスタント メッセージに関する問題、10-25 ページ](#)
- [\[ 通信履歴 \] ウィンドウの問題、10-27 ページ](#)
- [ボイスメールに関する問題、10-27 ページ](#)
- [検索に関する問題、10-28 ページ](#)
- [オンライン ヘルプへのアクセスに関する問題、10-28 ページ](#)
- [管理者に提供する情報の取得、10-29 ページ](#)

## アプリケーションの設定に関する問題

**問題** インストール時にエラーが発生します。

**解決策** ディスクの空き領域が十分にあることを確認します。[Cisco Unified Personal Communicator のインストール、1-2 ページ](#)を参照してください。

## ログインと起動に関する問題

- [エラー：ログインに失敗する、10-2 ページ](#)
- [ログイン時にアプリケーションがフリーズする、10-3 ページ](#)
- [アプリケーションの起動が遅い、10-3 ページ](#)
- [デスクの電話デバイスを使用できない、10-4 ページ](#)

## エラー：ログインに失敗する

**問題** ログイン時のエラー：ログインに失敗しました。ユーザ名とパスワードが正しいことを確認してください。

### 解決策

- ユーザ名、パスワード、およびログイン サーバの情報を正しく入力しているかどうかを確認してください。ログインに関する詳しい要件については、[ログイン、1-5 ページ](#)を参照してください。
- 入力したパスワードが正しく、システムの他の場所でパスワードが変更されていないことを確認します。この確認を行うには、Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページ（以前の Cisco Unified CallManager ユーザ オプション Web ページ）にアクセスします。その方法が不明な場合は、システム管理者に問い合せてください。

### 関連トピック

- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)

## ログイン時にアプリケーションがフリーズする

**問題** ログインしようとする、Cisco Unified Personal Communicator がフリーズします。この問題は断続的に発生する場合があります。

### 解決策

- この問題は、Microsoft IntelliPoint Mouse ソフトウェア バージョン 6.0 および 6.1 の既知の問題に関係している可能性があります。IntelliPoint ソフトウェアをアンインストールするか、IntelliPoint ソフトウェアをバージョン 5.x にダウングレードした後、コンピュータを再起動してから、Cisco Unified Personal Communicator を再起動してください。また、一時的な回避策として、Cisco Unified Personal Communicator の自動ログイン設定を有効にする方法もあります。
- オペレーティング システムの動作を変更または拡張する他のアプリケーションによって、ログインが妨げられている可能性もあります。[アプリケーションが応答しない、または動作がおかしい、10-5 ページ](#)を参照してください。

## アプリケーションの起動が遅い

**問題** Cisco Unified Personal Communicator の起動に非常に時間がかかります。

### 解決策

- 削除のマークを付けた通信履歴アイテムを完全に削除します。大量のボイス メール メッセージが存在する場合、この作業は特に重要です。
- 不要になった連絡先を連絡先リストから削除します。連絡先リストのサイズを小さくすると、読み込みが高速になります。

### 関連トピック

- [通信履歴のリストおよびアイテムの操作、9-4 ページ](#)
- [一覧からの連絡先の削除、8-6 ページ](#)

## デスクの電話デバイスを使用できない

**問題** Cisco Unified Personal Communicator を起動すると、「デスクの電話デバイスは使用できません」というメッセージが表示されます。

**解決策** Cisco Unified Personal Communicator に関連付けられている電話機が使用できなくなっています。

- Cisco Unified Personal Communicator で使用可能なデスクの電話が近くに 1 つもない場合は、[ ソフトフォンの使用 ] をクリックします。
- Cisco Unified Personal Communicator で別のデスクの電話を選択する場合は、[関連付けるデスクの電話の選択、1-12 ページ](#)の指示に従って電話機を選択した後、[ 新しいデスクの電話の選択 ] をクリックします。

### 関連トピック

- [制御する電話の選択、1-11 ページ](#)

## 一般的な問題

- [アプリケーションが応答しない、または動作がおかしい、10-5 ページ](#)
- [セキュリティ警告が表示される、10-6 ページ](#)

## アプリケーションが応答しない、または動作がおかしい

**問題** Cisco Unified Personal Communicator が応答しないか、おかしな動作をします。

### 解決策

- オペレーティング システムの動作を変更または拡張するアプリケーション (PowerToys for Windows XP、ATI の Hydravision、Otaku Software の TopDesk など) をすべてアンインストールします。
- [ヘルプ] > [セキュリティ警告のリセット] の順に選択します。

次回、Microsoft Outlook の Cisco Unified Personal Communicator ツールバーからコールをダイヤルするときに、Cisco Unified Personal Communicator へのアクセスを許可するかどうかをたずねられます。[常に許可する] を選択します。

Cisco Unified Personal Communicator と組み合わせて使用しても安全であることがわかっているアプリケーション (Outlook など) からコールを発信しようとしている場合を除き、アクセスを許可するかどうかをたずねられたときは、[常に許可しない] を選択します。

### 関連トピック

- [ログイン時にアプリケーションがフリーズする、10-3 ページ](#)
- [検索の実行後、アプリケーションが応答していないように見える、10-28 ページ](#)
- [アプリケーションの起動が遅い、10-3 ページ](#)

## セキュリティ警告が表示される

**問題** Cisco Unified Personal Communicator へのアクセスを許可するかどうかをたずねる警告が表示されます。どうすればよいですか。

**解決策** Cisco Unified Personal Communicator と通信する他のアプリケーションを意図的に使用している場合は、アクセスを許可しても問題ありません。Cisco Unified Personal Communicator と通信を行う操作を意図的に開始したのではない場合は、[ 常に許可しない ] を選択してください。

### 関連トピック

- [Outlook からのコール：セキュリティ警告が表示される、10-11 ページ](#)

## 電話の選択に関する問題

- [電話をアクティブにできない、10-7 ページ](#)
- [希望するデスクの電話がリストに表示されない、10-7 ページ](#)

### 電話をアクティブにできない

**問題** 電話を選択すると、**電話モード**が [ 無効 ] に戻り、コールの発信も着信もできません。

**解決策** 次の方法を試してみてください。

- 別の電話のオプションを選択します。
- **デスクの電話**を選択しようとしている場合は、コンピュータがデスクの電話と同じネットワークに接続されているかどうかを確認してください。

#### 関連トピック

- [デスクの電話デバイスを使用できない、10-4 ページ](#)

### 希望するデスクの電話がリストに表示されない

**問題** 自分のデスク以外の**電話**を選択しようとしていますが、選択したい電話がリストに含まれていません。

#### 解決策

- 電話機から Extension Mobility ( EM ) サービスにログインします。詳しくは、電話機のマニュアルを参照してください。
- すべての電話機を使用できるわけではありません。選択したい電話機を使用できない場合は、システム管理者に連絡してください。

#### 関連トピック

- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)

## コンソールの問題

- [コンソールが画面のサイズに合わない、10-8 ページ](#)
- [メニュー項目、ボタン、オプションが淡色表示される、10-8 ページ](#)
- [カラムが狭すぎる、10-9 ページ](#)
- [コンソール内のウィンドウのサイズを変更できない、10-9 ページ](#)

### コンソールが画面のサイズに合わない

**問題** [コンソール](#)が大きすぎて画面に合いません。

**解決策** 推奨される最小画面解像度は 1024 x 768 です。

画面解像度を変更する手順は次のとおりです。

(Windows XP) [スタート] > [コントロールパネル] > [画面] を選択します。

詳しくは、オペレーティングシステムのヘルプを参照してください。

### メニュー項目、ボタン、オプションが淡色表示される

**問題** 使用したいメニュー項目、ボタン、または他のオプションが淡色表示されます。

**解決策** 次のような解決策があります。

- 連絡先または通信をクリックしてから、ボタンをクリックする必要がある。
- 現在選択されている連絡先または通信には、そのオプションを使用できない。たとえば、[通信履歴] リストの電話番号エントリにインスタントメッセージを送信することはできません。
- そのオプションは現在の状況に該当しない。たとえば、未読のマークが付いたアイテムを選択している場合、[未読にする] オプションは使用できません。

#### 関連トピック

- [コールの発信に関する問題、10-11 ページ](#)

## カラムが狭すぎる

**問題** コンソール内のカラムが狭すぎて、一部の情報が表示されません。

**解決策** 次のような解決策があります。

- リスト内の項目にマウス ポインタを合わせれば、詳細情報が表示されます。
- カラムのサイズを変更します。
- コンソールの端をドラッグして、コンソール全体のサイズを大きくします。

## コンソール内のウィンドウのサイズを変更できない

**問題** コンソール内のウィンドウのサイズを変更できません。

**解決策** コンソールの下端をドラッグして長くしてから、ウィンドウのサイズを変更します。コンソールのサイズが最小である場合は、コンソール内のウィンドウのサイズを変更できません。

## プレゼンス ステータスに関する問題

**問題** プレゼンス ステータスのインジケータが正しく表示されません。

### 解決策

- 組織によっては、会社のディレクトリに登録されている一部のユーザのプレゼンス ステータスを表示しないように設定されている場合があります。
- Cisco Unified Presence ユーザ オプション Web ページでプライバシー設定を変更した場合は、それらの設定を確認します。
  - 自分のプレゼンス ステータスが他の Cisco Unified Personal Communicator ユーザに表示されない場合は、プライバシー設定の「ブロック」リストを確認します。
  - デフォルトのプレゼンス ステータス設定が変更されていないことを確認します。また、自分のステータスが正しく表示されない原因となるユーザ定義ポリシーが作成されていないことも確認します。場合によっては、Cisco Unified Presence ユーザ オプション Web ページでプレゼンス設定をデフォルトに戻すことで、この問題を簡単に解決できることがあります。
- システム管理者に問い合せて、ファイアウォール設定に問題がないことを確認します。必要に応じて、ご使用のファイアウォール アプリケーションのオンライン ヘルプやマニュアルも参照してください。
- ネットワーク接続に問題がなく、ネットワーク依存型アプリケーション（電子メールなど）を使用できることを確認します。

### 関連トピック

- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)

## コールの発信に関する問題

- ボタンやメニュー項目が淡色表示される、10-11 ページ
- Outlook からのコール：セキュリティ警告が表示される、10-11 ページ

### ボタンやメニュー項目が淡色表示される

**問題** 音声コールまたはビデオ コールの発信、または電子メールの送信を実行したいのですが、ボタンとメニュー項目が淡色表示されています。

**解決策** 次のような解決策があります。

- [コンソール](#)で最初に連絡先名または通信をクリックする必要がある。
- 選択した連絡先に関して必要な情報をシステムまたは[ 通信履歴 ] エントリで入手できない。たとえば、電話番号や電子メール アドレスなどの情報が欠落している可能性があります。

### Outlook からのコール：セキュリティ警告が表示される

**問題** Microsoft Outlook の Cisco Unified Personal Communicator ツールバーからコールを発信しようとする、選択を求めるセキュリティ警告が表示されません。どうすればよいですか。

**解決策** [ 常に許可する ] を選択します。この状況は、[ ヘルプ ] > [ セキュリティ警告のリセット ] を選択した場合に発生します。セキュリティのリセットは、[アプリケーションが応答しない、または動作がおかしい、10-5 ページ](#)で説明されている問題が発生した場合にのみ行ってください。

#### 関連トピック

- [セキュリティ警告が表示される、10-6 ページ](#)

## 着信コールの問題

- [着信コールの通知が表示されない、10-12 ページ](#)
- [電話の呼び出し音が聞こえない、10-12 ページ](#)

### 着信コールの通知が表示されない

**問題** 他のユーザがコールを発信したときに、通知が表示されませんでした。

**解決策** 通知が表示されるのは、Cisco Unified Personal Communicator が稼働しているときだけです。コンピュータを起動したときには、必ずこのアプリケーションを起動してください。

### 電話の呼び出し音が聞こえない

**問題** 他のユーザからのコールが着信したときに、通知は表示されましたが呼び出し音が聞こえませんでした。

#### 解決策

**デスクの電話** モードを使用している場合、呼び出し音はデスクの電話からのみ再生されます。電話機の呼び出し音量設定を確認してください。

**ソフトフォン** モードを使用している場合：

- [設定] で呼び出し音デバイスとしてヘッドセットが選択されていて、コンピュータにヘッドセットが接続されている場合、ヘッドセットを装着していないと呼び出し音が聞こえない可能性があります。
- [電話モード] が [ソフトフォン] に設定されていることを確認します。
- [設定] で呼び出し音量が十分なレベルに設定されていることを確認します。
- [設定] 以外の方法で、コンピュータやサウンド デバイスがミュートされていないことを確認し、音量が十分なレベルに設定されていることを確認します。ソフトフォンを使用している場合は、サウンドに関する問題のセクションに記載されている確認項目を参照してください。

#### 関連トピック

- [呼び出しデバイスと音量の指定、1-10 ページ](#)
- [音声聞こえない、10-13 ページ](#)
- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)

## 会話中の問題

- 音声が届かない、10-13 ページ
- 自分の声が他の参加者に届かない、または音質が悪い、10-15 ページ
- 会話ウィンドウのコントロールが使用できない、10-18 ページ
- コールを結合できない、10-18 ページ

## 音声が聞こえない

**問題** ソフトフォンを使用しているときに音声が聞こえません。会話ウィンドウには接続中と表示されています。

**解決策** 次の方法を試してみてください。

- ヘッドセットとカメラが USB ポートに正しく接続されていることを確認します。
- 会話ウィンドウを確認し、音量が十分なレベルに設定されているかどうか、会話が保留中になっていないかどうかを確認します。
- [電話モード] が [ソフトフォン] に設定されていることを確認します。
- コンピュータでミュートが設定されていないか、または、音量が小さく設定されていないかどうかを確認します。これをテストするには、コンピュータから出力されるその他の音が聞こえるかどうかを確認します。たとえば、間違ったキーを押したときのピープ音や、メッセージの到着を示す音などです。

キーボードのキーと画面上のコントロール（システムトレイのメガホンアイコンやサウンド用のコントロールパネルなど）の両方で設定できる場合があります。これらをそれぞれ設定する必要があります。

- ヘッドセットなどのオーディオ デバイスにミュート ボタンや音量を下げるボタンがある場合は、そのボタンがアクティブでないことを確認します。
- ヘッドセットなどのオーディオ デバイスに音量調整用のホイールやスライダーがある場合は、音量が非常に低いレベルに設定されていないことを確認します。
- Cisco Unified Personal Communicator で使用するスピーカー デバイスが正しく指定されていることを確認します。[オーディオ デバイスとビデオ デバイスの指定、1-9 ページ](#)の手順に従ってください。
- 別のヘッドセットやスピーカー デバイスを用意できる場合は、それらのデバイスを使用して試してみてください。

- コンピュータにスピーカーが内蔵されている場合は、そのスピーカーを使用して試してみてください。オーディオ デバイスとビデオ デバイスの指定、1-9 ページの手順に従ってください。
- オペレーティング システムのサウンド設定を確認します。Windows XP の詳細なスピーカー サウンド設定の確認、10-14 ページを参照してください。
- Virtual Private Network (VPN; バーチャル プライベート ネットワーク) 経由で接続している場合: VPN アプリケーションのウィンドウで、[ オプション ] メニューをクリックします。[ ステートフル ファイアウォール ] のオプションにマークが付いていないことを確認してください。マークが付いている場合は、[ ステートフル ファイアウォール ] を選択してマークを外します。
- 1 人の相手とのみ会話をしている場合は、その相手に **自分の声が他の参加者に聞こえない、または音質が悪い**、10-15 ページに記載されているトラブルシューティング ヒントを試してもらってください。

## Windows XP の詳細なスピーカー サウンド設定の確認

次の手順を実施すると、音声が聞こえない、10-13 ページで説明されている問題を解決できる可能性があります。

この手順は、サウンドを使用する他のアプリケーションに影響を与える場合があります。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Personal Communicator で使用するスピーカー デバイスまたはヘッドセットがコンピュータに接続されていることを確認します。
- ステップ 2** [ スタート ] > [ すべてのプログラム ] > [ アクセサリ ] > [ エンターテイメント ] > [ ボリューム コントロール ] の順に選択します。
- ステップ 3** [ オプション ] > [ プロパティ ] の順に選択します。
- ステップ 4** [ ミキサー デバイス ] として、Cisco Unified Personal Communicator で使用するスピーカーまたはヘッドセットを選択します。
- ステップ 5** [ 再生 ] をクリックします。

- ステップ 6** [ボリューム コントロール] ボックスと [WAVE] ボックスにチェック マークを付けます。その他のボックスのチェック マークを外します。
- ステップ 7** [OK] をクリックします。
- ステップ 8** 各項目の [ミュート] ボックスにチェック マークが付いていないことを確認します。
- ステップ 9** 各項目の音量スライダが十分なレベルに設定されていることを確認します。
- ステップ 10** [ボリューム コントロール] ウィンドウを閉じます。
- ステップ 11** 必要に応じて、この手順を繰り返します (ただし、手順 5 ですべてのチェック ボックスにチェック マークを付けます)。表示される項目はデバイスごとに異なります。いずれの項目もミュートされていないことを確認し、音量が十分なレベルに設定されていることを確認してください。例外: ヘッドセットを使用しない場合は、フィードバック ノイズを回避するために、[再生] の設定で [マイク] ([キャプチャ] と表示されることもあります) をミュートすることをお勧めします。

---

### 関連トピック

- [音声が届かない、10-13 ページ](#)

## 自分の声他の参加者に聞こえない、または音質が悪い

**問題** 自分の声他の参加者に聞こえません。または、音質が良くありません。

**解決策** 次の方法を試してみてください。

- [会話ウィンドウ](#)を確認し、音声ミュートされていないかどうかを確認します。
- ソフトフォンを使用する場合は、[電話モード] が [ソフトフォン] に設定されていることを確認します。
- ヘッドセットがある場合は、コンピュータに内蔵されているマイクではなく、ヘッドセットのマイクを使用します。

- ヘッドセットまたはマイクのミュート ボタンがオンになっていないことを確認します。
- マイクが口元から離れすぎていることを確認します。少しずつ距離を変えて、理想的な距離を探してください。
- ヘッドセットとカメラが USB ポートに正しく接続されていることを確認します。
- Cisco Unified Personal Communicator の設定で、マイクが正しく指定されていることを確認します。
- ソフト フォン モードでカメラとヘッドセットの両方を使用する場合は、カメラではなくヘッドセットがスピーカー デバイスとして指定されていることを [ 設定 ] で確認します。
- オペレーティング システムで指定されているマイクのサウンド設定を確認します。Windows XP の詳細なマイク サウンド設定の確認、10-16 ページを参照してください。
- 1 人の相手とのみ会話をしている場合は、その相手に 音声が届かない、10-13 ページに記載されているトラブルシューティング ヒントを試してみてください。

### 関連トピック

- オーディオ デバイスとビデオ デバイスの指定、1-9 ページ
- コールの音量の変更、3-13 ページ
- Windows XP の詳細なマイク サウンド設定の確認、10-16 ページ

## Windows XP の詳細なマイク サウンド設定の確認

次の手順を実施すると、自分の声が他の参加者に聞こえない、または音質が悪い、10-15 ページで説明されている問題を解決できる可能性があります。

この設定は、他の値に変更するか、デバイスを取り外すまで維持されます。

この手順は、サウンドを使用する他のアプリケーションに影響を与える場合があります。

## 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Personal Communicator で使用するヘッドセットまたはマイクがコンピュータに接続されていることを確認します。
- ステップ 2** [ スタート ] > [ すべてのプログラム ] > [ アクセサリ ] > [ エンターテイメント ] > [ ボリューム コントロール ] の順に選択します。
- ステップ 3** [ オプション ] > [ プロパティ ] の順に選択します。
- ステップ 4** [ ミキサー デバイス ] として、Cisco Unified Personal Communicator で使用するヘッドセットまたはマイクを選択します。
- ステップ 5** [ 録音 ] をクリックし、[ マイク ] ボックスにチェック マークが付いていることを確認します ( デバイスによっては [ マイク ] チェック ボックスが表示されないこともあります。たとえば、[ マイク ] ボックスの代わりに [ キャプチャ ] ボックスが表示される場合があります。状況によっては、この項目がどのような名前と呼ばれているかを調べる必要があります )。
- ステップ 6** [ OK ] をクリックします。
- ステップ 7** [ 選択 ] ボックス ( または同等のボックス ) にチェック マークが付いていることを確認し、そのデバイスがミュートされておらず、音量が十分なレベルに設定されていることを確認します ( 表示されるオプションはデバイスごとに異なります )。
- ステップ 8** ウィンドウを閉じます。
- 

## 関連トピック

- [自分の声ほかの参加者に聞こえない、または音質が悪い、10-15 ページ](#)

## 会話ウィンドウのコントロールが使用できない

**問題** 会話ウィンドウ内のボタンとコントロールが淡色表示されるか、表示されません。

### 解決策

- コールが保留中である可能性があります。
- **電話モード**が [ デスクの電話 ] に設定されている場合、電話機をミュートしたり、電話機の音量を変更するには、**デスクの電話**のコントロールを使用する必要があります。
- ビデオを使用する場合は、ビデオ関連の設定を行う必要があります。

### 関連トピック

- [会話の保留と再開、3-12 ページ](#)
- [ビデオを使用する前に、4-3 ページ](#)

## コールを結合できない

**問題** 2 つのコールを結合したいのですが、[ マージ ] ボタンが淡色表示されています。

**解決策** 次を確認してください。

- 2 つの会議コールの結合はできません。少なくとも 1 つのコールは、自分以外の参加者が 1 人である必要があります。複数の参加者を単一のコールに結合するには、[コールの結合、6-3 ページ](#)を参照してください。
- 一方のコールが保留中になっていないかどうかを確認します。現在アクティブなコール ウィンドウでは、[ マージ ] ボタンがアクティブになります。会話が保留中の場合、[ マージ ] ボタンは淡色表示されます。

## カメラまたはビデオに関する問題

- [カメラを接続すると設定プロセスが再度実行される、10-19 ページ](#)
- [予想外の状況でカメラ ドライバの選択を求められる、10-19 ページ](#)
- [ビデオを使用するためのオプションが淡色表示される、10-20 ページ](#)
- [コンピュータがカメラを認識しない、または自分のビデオ画像が表示されない、10-20 ページ](#)
- [ビデオが表示されず音声しか再生されない、10-21 ページ](#)
- [相手のビデオ画像が表示されない、10-21 ページ](#)
- [ビデオが遅れて表示される、画質が悪い、または何も表示されない、10-21 ページ](#)
- [音声コールにビデオを追加できない、10-22 ページ](#)
- [自分の画像が 2 つ表示される、10-22 ページ](#)

### カメラを接続すると設定プロセスが再度実行される

**問題** カメラ ドライバの設定はすでに完了しています。カメラを接続すると設定プロセスが再度実行されるのですが、なぜですか。

**解決策** USB ポートが複数ある場合、または（コンピュータに直接接続する代わりに）カメラをハブに接続する場合は、まだ使用したことのないポートにカメラを接続するたびに設定プロセスが実行されることがあります。

### 予想外の状況でカメラ ドライバの選択を求められる

**問題** カメラを使おうとすると、ドライバの選択を促すウィンドウが表示されます。

**解決策** カメラをコンピュータから取り外し、カメラのソフトウェアをインストールしてから、カメラを再接続します。

#### 関連トピック

- [Cisco 製ビデオ カメラのインストールと設定、1-3 ページ](#)

## ビデオを使用するためのオプションが淡色表示される

**問題** ビデオ会話を開始するオプション、会話にビデオを追加するオプション、ビデオでコールに应答するオプション、自分自身のビデオ イメージを表示するオプションなどが淡色表示されます。

### 解決策

- カメラが接続されていることを確認します。カメラを接続した後に、Cisco Unified Personal Communicator の再起動が必要になる場合があります。
- ビデオを使用できるのは、電話モードがソフト フォンに設定されている場合のみです。現在の会話を終了して、ソフト フォンで新しい会話を開始する必要があります。

### 関連トピック

- [制御する電話の選択、1-11 ページ](#)
- [コンピュータがカメラを認識しない、または自分のビデオ画像が表示されない、10-20 ページ](#)

## コンピュータがカメラを認識しない、または自分のビデオ画像が表示されない

**問題** コンピュータが正しくカメラを認識しません。または、自分のビデオ画像が表示されません。

**解決策** 次の方法を試してみてください。

- [ビデオを使用する前に、4-3 ページ](#)の要件を満たしているかどうかを確認します。
- カメラを一度コンピュータから外し、再接続します。
- カメラを他の USB ポートに接続します。
- [ 音声 / ビデオ ] 設定でカメラが正しく選択されていることを確認します。
- Cisco Unified Personal Communicator が稼働している場合は、一度終了して再起動します。
- 他のアプリケーションでカメラを使用できるかどうかを確認します。使用できない場合は、カメラに添付されているトラブルシューティング情報を参照してください。

### 関連トピック

- [オーディオ デバイスとビデオ デバイスの指定、1-9 ページ](#)

## ビデオが表示されず音声しか再生されない

**問題** ビデオを使用して発信または応答したにもかかわらず、音声のみのコールになります。

**解決策** ビデオが表示されるのは、発信者と受信者の両方がビデオの使用に同意した場合のみです。音声のみのコールが接続された後に、ビデオを追加することもできます。

### 関連トピック

- [ビデオの表示、4-4 ページ](#)

## 相手のビデオ画像が表示されない

**問題** ビデオを使用してコールに応答しましたが（または、会話にビデオを追加しましたが）、相手のビデオ画像が表示されません。

**解決策** 相手がビデオ カメラを設置していないか、会話にビデオを追加することに同意しなかった可能性があります。電話会議に参加している場合は、[自分の画像が 2 つ表示される、10-22 ページ](#)を参照してください。

## ビデオが遅れて表示される、画質が悪い、または何も表示されない

**問題** ビデオが遅れて表示されたり、画質が低下したり、何も表示されない場合があります。

**解決策** 次の方法を試してみてください。

- コンピュータがバッテリー モードで動作している場合は、AC アダプタを接続します。
- 不要なログ機能が有効になっていないことを確認します。
- 低速回線でもリモートからネットワークにアクセスしている場合は、音声のみで会話することを推奨します。

**関連トピック**

- [詳細ログの有効化、10-31 ページ](#)
- [ログイン時にアプリケーションがフリーズする、10-3 ページ](#)
- [アプリケーションが応答しない、または動作がおかしい、10-5 ページ](#)

**音声コールにビデオを追加できない**

**問題** 音声コールにビデオを追加できません。通話相手は Tandberg 製のビデオ電話を使用しています。

**解決策** 自分から相手にビデオ コールを発信するか、Tandberg 電話機のユーザから自分にコールを発信してもらいます。Tandberg 製の電話機の場合、これは通常の動作です。

**自分の画像が 2 つ表示される**

**問題** 会議コールにビデオを追加しましたが、自分の画像が 2 つ表示され、他の画像が表示されません。

**解決策** それぞれの参加者が会議コールにビデオを追加する必要があります。いずれかの参加者がビデオを追加すると、その参加者の画像が表示されます。

## Web 会議の問題

- Web 会議を追加すると、ログイン情報の入力を求められる、10-23 ページ
- Web 会議を追加できない、10-23 ページ
- Web 会議の言語が異なる、10-24 ページ
- Web 会議への接続が切断された、10-24 ページ
- Web 会議ウィンドウが一部の参加者に対して表示されない、10-24 ページ
- Web 会議が標準的な Web 会議と異なる、10-24 ページ

### Web 会議を追加すると、ログイン情報の入力を求められる

**問題** Web 会議を追加すると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。どうすればよいですか。

**解決策** Cisco Unified MeetingPlace または Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ名とパスワードを入力します。

### Web 会議を追加できない

**問題** Web 会議を追加できません。または、Web 会議を始めるボタンをクリックすると、エラー メッセージが表示されます。

**解決策** 次のような解決策があります。

- Cisco MeetingPlace または Cisco Unified MeetingPlace Express のアカウント情報が正しく指定されていない可能性があります。[Web 会議の設定、1-7 ページ](#)を参照してください。ユーザ名とパスワードがわからない場合は、システム管理者に連絡してください。
- Cisco MeetingPlace または Cisco Unified MeetingPlace Express に直接ログインできるかどうかを試してみます。正常にログインできる場合は、Cisco Unified Personal Communicator の MeetingPlace のアカウント設定で、同じユーザ名とパスワードを入力する必要があります。
- Cisco MeetingPlace または Cisco Unified MeetingPlace Express の[プロフィール](#) (アカウント) が必要になる場合もあります。システム管理者に問い合せてください。

## Web 会議の言語が異なる

**問題** 自分の母国語と異なる言語が Web 会議で使用されます

**解決策** Web 会議機能で使用できる言語は、Cisco Unified Personal Communicator アプリケーションの他の機能で使用できる言語とは異なります。希望する言語を使用できない場合は、英語が表示されます。

## Web 会議への接続が切断された

**問題** Web 会議への接続が切断されました。

**解決策**

- [会話ウィンドウ](#)の [ Web 会議に再参加 ] ボタンをクリックします。

## Web 会議ウィンドウが一部の参加者に対して表示されない

**問題** Web 会議のウィンドウが、一部の会議参加者には表示されません。

**解決策** 次のような解決策があります。

- Cisco Unified Personal Communicator を使用していない参加者には、自動的に Web 会議のウィンドウが表示されることはありません。
- 多くの参加者に対応できるように Cisco MeetingPlace または Cisco Unified MeetingPlace Express システムが設定されていない可能性があります。システム管理者に問い合せてください。

**関連トピック**

- [会話への Web 会議と Web 参加者の追加、5-2 ページ](#)

## Web 会議が標準的な Web 会議と異なる

**問題** Web 会議が標準的な Web 会議と異なります。

**解決策** Cisco Unified Personal Communicator を介してアクセスする Web 会議は、標準的な Web 会議と異なります。標準的な Web 会議の機能の一部は、Cisco Unified Personal Communicator アプリケーションによって処理されます。

**関連トピック**

- [標準的な Web 会議との比較、5-6 ページ](#)

## インスタントメッセージに関する問題

- [インスタントメッセージ ボタンが淡色表示される、10-25 ページ](#)
- [メッセージが相手に届かない、10-25 ページ](#)
- [メッセージ : 「\[ ユーザ \] にメッセージは届きませんでした。」、10-26 ページ](#)
- [新しいメッセージが古いメッセージと同じウィンドウに表示される、10-26 ページ](#)

### インスタントメッセージ ボタンが淡色表示される

**問題** インスタントメッセージを送信するためのボタンが淡色表示されます。

#### 解決策

- 最初に、リスト内のユーザを選択します。
- 選択されている名前が 1 つだけであることを確認します。
- [プレゼンス ステータス](#)が [ オフライン ] または [ 不在 ] と表示されているユーザには、インスタントメッセージを送信できない場合があります。
- インスタントメッセージを送信できる相手は、Cisco Unified Personal Communicator または IP Phone Messenger を使用するように設定されている組織内のユーザのみです。このグループには、会社のディレクトリに登録されている一部のユーザが含まれていない場合もあります。

#### 関連トピック

- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)

### メッセージが相手に届かない

**問題** エラーなしでインスタントメッセージを送信しましたが、相手にメッセージが届きません。または、他のユーザから送信されたメッセージが自分に届きません。

**解決策** メッセージの送信時に受信者が Cisco Unified Personal Communicator にログインしていなかった場合、受信者側で IP Phone Messaging ( IPPM ) を使用するように設定されていた場合は、Cisco Unified Personal Communicator ではなく、その宛先にメッセージが転送された可能性があります。メッセージを表示する方法については、IPPM のマニュアルを参照してください。

**関連トピック**

- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)
- [メッセージ : 「\[ ユーザ \] にメッセージは届きませんでした。」、10-26 ページ](#)

**メッセージ : 「[ ユーザ ] にメッセージは届きませんでした。」**

**問題** メッセージを送信しようとする、次のメッセージが表示されます。

- “メッセージを送信できなかったため、[ ユーザ ] にメッセージは届きませんでした。”
- “[ ユーザ ] はオフラインのため、メッセージを受信できませんでした。”
- [ ユーザ ] へのメッセージを送信できませんでした。

**解決策** このメッセージが表示された場合は、正しくメッセージが送信されたように見える場合でも、後でメッセージを再送するか、別の方法で連絡を取ることをお勧めします。プレゼンス ステータスが [ オフライン ] または [ 不在 ] と表示されているユーザは、Cisco Unified Personal Communicator でインスタントメッセージを受信できません。

**関連トピック**

- [メッセージが相手に届かない、10-25 ページ](#)

**新しいメッセージが古いメッセージと同じウィンドウに表示される**

**問題** 新しいメッセージが古いメッセージと同じウィンドウに表示されます。

**解決策** Cisco Unified Personal Communicator ユーザごとに 1 つのメッセージウィンドウのみを常に開いておくことができます。

## [ 通信履歴 ] ウィンドウの問題

- 実際に行ったコールがリストに表示されない、10-27 ページ
- リストに名前ではなく電話番号が表示される、10-27 ページ

### 実際に行ったコールがリストに表示されない

**問題** 実際に行ったコールが [ 通信履歴 ] に表示されません。

**解決策** Cisco Unified Personal Communicator が稼働していないときに発信または着信したコールは、[ 通信履歴 ] には表示されません。また、Cisco Unified Personal Communicator が **ソフトフォン** モードで稼働しているときに **デスクの電話** から発信されたコールもリストには表示されません。

### リストに名前ではなく電話番号が表示される

**問題** 社内のユーザからコールを受信しました。[ 通信履歴 ] ウィンドウにはそのユーザの名前ではなく、電話番号が表示されています。

**解決策** そのユーザがシステムが認識できない番号(たとえば自宅の電話など)からコールを発信した可能性があります。または、企業のディレクトリが古い可能性があります。

## ボイスメールに関する問題

**問題** ボイスメールのダウンロードに時間がかかります。

**解決策** まだ完全に削除されていない古いボイスメール メッセージが大量に残っている場合は、通信履歴リストからこれらの項目を除去します。

### 関連トピック

- [通信履歴のリストおよびアイテムの操作](#)、9-4 ページ

## 検索に関する問題

- [検索結果が正しくないように思われる、10-28 ページ](#)
- [検索の実行後、アプリケーションが応答していないように見える、10-28 ページ](#)

### 検索結果が正しくないように思われる

**問題** 検索結果が正しくないようです。

**解決策** さまざまな属性が検索されるので、管理者の設定によっては、予期しない結果が含まれる場合があります。

### 検索の実行後、アプリケーションが応答していないように見える

**問題** 検索操作の実行後、アプリケーションが応答していないように見えます。

**解決策** 検索操作が完了するまで、しばらく待ちます。

## オンライン ヘルプへのアクセスに関する問題

**問題** オンライン ヘルプを表示できません。

**解決策**

- アクティブ コンテンツを許可する必要があります。たとえば、Internet Explorer 6 ではブラウザ ウィンドウの上部付近にある情報バーをクリックして、[ ブロックされているコンテンツを許可 ] を選択する必要があります。
- この製品のユーザガイドの PDF 版が管理者から配布される場合もあります。
- このドキュメントの最新の PDF 版は、Cisco の Web サイトからも入手できます。

**関連トピック**

- [詳細なドキュメントの入手先、1-16 ページ](#)

## 管理者に提供する情報の取得

問題が発生した場合は、システム管理者から次のいずれかを行うように依頼されることがあります。

- [コール統計の確認、10-29 ページ](#)
- [サーバステータスの確認、10-30 ページ](#)
- [ログファイルの収集、10-30 ページ](#)
- [詳細ログの有効化、10-31 ページ](#)

## コール統計の確認

現在のコールに関するコール統計を確認できます。

### 手順

- 
- ステップ 1** 問題があるコールの[会話ウィンドウ](#)がアクティブなウィンドウになっていることを確認します。
  - ステップ 2** コールが保留中になっていないことを確認します。
  - ステップ 3** アクティブな会話ウィンドウのメニュー バーで、[ ヘルプ ] > [ コール統計の表示 ] の順に選択します。
  - ステップ 4** [ 音声統計 ] または [ ビデオ統計 ] をクリックします。
-

## サーバステータスの確認

### 手順

- 
- ステップ 1** **コンソール** 上部のメニュー バーで、[ ヘルプ ] > [ サーバヘルスの表示 ] の順に選択します。
- ステップ 2** 管理者の指示に従って、左側のオプションを選択します。
- 

## ログ ファイルの収集

### 手順

- 
- ステップ 1** デスクトップ上で、CUPC から始まり、その後に数字とアルファベットが続く名前の .zip ファイルを探します。

ファイルが自動で生成されていない場合は、作成します。

- a. 次のいずれかの操作を実行します。
  - [ ヘルプ ] > [ エラーレポートの作成 ] を選択します。
  - [ スタート ] > [ すべてのプログラム ] > [ Cisco Unified Personal Communicator ] > [ エラーレポートの作成 ] の順に選択します。
- b. 画面上の指示に従います。[ 完了 ] をクリックする前に、デスクトップ上に作成されたファイルの名前を記録しておきます。

- ステップ 2** 特に、エラー レポートが自動的に生成された場合は、次の情報を含む電子メールを作成します。

- 問題の説明
- 問題発生時に行っていた操作の説明
- 問題に関連すると思われるその他の詳細

**ステップ 3** 生成されたファイルと関連情報をシステム管理者に電子メールで送信します。

---

#### 関連トピック

- [詳細ログの有効化、10-31 ページ](#)

## 詳細ログの有効化

Cisco Unified Personal Communicator の使用で問題が発生している場合に、管理者の指示があれば、[ ヘルプ ] > [ 詳細ログを有効にする ] の順に選択して、詳細ログを有効にします。

詳細ログを無効にする手順も同じです。

この設定は、再起動しても変更するまではそのまま保持されます。

詳細ログを有効にするとパフォーマンスが悪くなる場合があるので、必要でなくなればすぐに無効にしてください。





# APPENDIX **A**

## Third-Party Copyright and License Information

---

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Required Notices:

### **H.263**

UB VIDEO INC. IS THE LICENSOR OF THE UB VIDEO H.263 PROFILE 3 CODEC (ANNEXES I, J, K AND T).

**H.264**

PORTIONS OF THE H.264 CODEC WERE PROVIDED BY VANGUARD SOFTWARE SOLUTIONS INC  
1995-2005 ALL RIGHTS RESERVED

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

**resiprocate, dum - <http://www.resiprocate.org>**

The Vovida Software License v. 1.0

Copyright (c) 2000 Vovida Networks, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names "VOCAL", "Vovida Open Communication Application Library", and "Vovida Open Communication Application Library (VOCAL)" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [vocal@vovida.org](mailto:vocal@vovida.org).
4. Products derived from this software may not be called "VOCAL", nor may "VOCAL" appear in their name, without prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL VOVIDA NETWORKS, INC. OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES IN EXCESS OF \$1,000, NOR FOR ANY INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

**ares**

Copyright 1998 by the Massachusetts Institute of Technology.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

### Neon, G.711

neon is an HTTP and WebDAV client library, with a C language API.

Bindings for other languages may also be available, see the web site for more details.

neon is Copyright (C) 1999-2004 Joe Orton <joe@manyfish.co.uk>

Portions are:

Copyright (C) 1999-2000 Tommi Komulainen <Tommi.Komulainen@iki.fi>

Copyright (C) 1999-2000 Peter Boos <pedib@colorfullife.com>

Copyright (C) 1991, 1995, 1996, 1997 Free Software Foundation, Inc.

Copyright (C) 2004 Aleix Conchillo Flaque <aleix@member.fsf.org>

Copyright (C) 2004-2005, Vladimir Berezniker @ <http://public.xdi.org/=vmpn>

### GNU Lesser General Public License (LGPL)

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA

### iLBC

Full Copyright Statement

Copyright (C) The Internet Society (2004).

This document is subject to the rights, licenses and restrictions contained in BCP 78, and except as set forth therein, the authors retain all their rights.

This document and the information contained herein are provided on an "AS IS" basis and THE CONTRIBUTOR, THE ORGANIZATION HE/SHE REPRESENTS OR IS SPONSORED BY (IF ANY), THE INTERNET SOCIETY AND THE INTERNET ENGINEERING TASK FORCE DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Intellectual Property

The IETF takes no position regarding the validity or scope of any Intellectual Property Rights or other rights that might be claimed to pertain to the implementation or use of the technology described in this document or the extent to which any license under such rights might or might not be available; nor does it represent that it has made any independent effort to identify any such rights. Information on the IETF's procedures with respect to rights in IETF Documents can be found in BCP 78 and BCP 79.

Copies of IPR disclosures made to the IETF Secretariat and any assurances of licenses to be made available, or the result of an attempt made to obtain a general license or permission for the use of such proprietary rights by implementers or users of this specification can be obtained from the IETF on-line IPR repository at <http://www.ietf.org/ipr>.

The IETF invites any interested party to bring to its attention any copyrights, patents or patent applications, or other proprietary rights that may cover technology that may be required to implement this standard. Please address the information to the IETF at [ietf-ipr@ietf.org](mailto:ietf-ipr@ietf.org).

## AES

Copyright (C) Mok-Kong Shen 2003. [mok-kong.shen@t-online.de](mailto:mok-kong.shen@t-online.de)

Free license:

This work and all modified versions of it may be freely copied, modified, redistributed and used for all legal civilian purposes without formality albeit at licensee's own risk and responsibility, subject to the following conditions:

- (1) A copy of this copyright notice with the release history list and the site modification history list must be included in any copy of this work or any modified version of it.
- (2) If this work or any modified version of it forms part of a software in object code or binary code, a document for users should accompany the software stating this fact and include this copyright notice as well as an URL of the licensee where the source code of the package in the version actually being used in the software can be found.
- (3) Any modification (except dropping of the Supplement) should be appropriately documented in the site modification history list below. The last date of site modification (at the beginning of the package) is to be updated.
- (4) In case of non-trivial modifications, i.e. those stemming from efficiency or correctness considerations or from issues of interoperability with other AES implementations, a copy of the modified package is to be immediately sent to the copyright owner at the address above.
- (5) Eventual negative or unfavourable consequences and losses or damages of any form to any persons in connection with the use of this work or its modified versions do not constitute any liabilities on the part of the copyright owner.

This free license is unlimited in time [1]. Any attempt of non-compliance with the above terms or any occurrence of // their practical unsatisfiability due to whatever reasons, however, automatically terminates the license. Such termination does not affect other licensees who have previously obtained materials from the person with the terminated license but who continue to comply with the above terms.

Other licenses:

Any usages of the contents of the package that don't qualify for a free license as stated in the above require explicit // specific licenses from the copyright owner.

[1] Since copyright grants could be revoked after 35 years (see <http://www.copyright.gov/title17/92chap2.html#203>), it // could be argued that this license is not timeless for sure. On the other hand, the lifespan of AES itself isn't likely to exceed that period. So the issue is not practically relevant in our context.



the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.\  
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style\  
Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL\  
please contact openssl-core@openssl.org.\

\* Certain portions of the code are copyright (c)1998-2005 The OpenSSL Project and  
other portions are copyright (c)1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.\

\*\  
\

\* Redistribution and use in source and binary forms, with or without\  
\* modification, are permitted provided that the following conditions\  
\* are met:\

\*\  
\

\* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright\  
\* notice, this list of conditions and the following disclaimer.\

\*\  
\

\* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright\  
\* notice, this list of conditions and the following disclaimer in\  
\* the documentation and/or other materials provided with the\  
\* distribution.\

\*\  
\

\* 3. All advertising materials mentioning features or use of this\  
\* software must display the following acknowledgment:\

\* "This product includes software developed by the OpenSSL Project\  
\* for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"\

\*\  
\

\* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to\  
\* endorse or promote products derived from this software without\  
\* prior written permission. For written permission, please contact\  
\* openssl-core@openssl.org.\

\*\  
\

\* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"\

\* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written\  
\

```
* permission of the OpenSSL Project.\
*\
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following\
* acknowledgment:\
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project\
* for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"\
*\
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY\
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE\
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR\
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR\
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,\
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT\
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;\
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)\
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,\
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)\
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED\
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.\
*\
* =====\
*\
* This product includes cryptographic software written by Eric Young\
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim\
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).\
*\
*/\
\
Original SSLeay License\
-----\
\
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)\
* All rights reserved.\
```

```
*\  
* This package is an SSL implementation written\  
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).\  
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.\  
*\  
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as\  
* the following conditions are aheared to. The following conditions\  
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,\  
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation\  
* included with this distribution is covered by the same copyright terms\  
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).\  
*\  
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in\  
* the code are not to be removed.\  
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution\  
* as the author of the parts of the library used.\  
* This can be in the form of a textual message at program startup or\  
* in documentation (online or textual) provided with the package.\  
*\  
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without\  
* modification, are permitted provided that the following conditions\  
* are met:\  
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright\  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.\  
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright\  
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the\  
* documentation and/or other materials provided with the distribution.\  
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software\  
* must display the following acknowledgement:\  
* "This product includes cryptographic software written by\  
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"\  
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library\  

```

```

* being used are not cryptographic related :-).\
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from\
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:\
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"\
*\
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND\
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE\
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE\
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE\
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL\
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS\
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)\
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT\
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY\
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF\
* SUCH DAMAGE.\
*\
* The licence and distribution terms for any publically available version or\
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be\
* copied and put under another distribution licence\
* [including the GNU Public Licence.]\
*/}

```

### Libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights

to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

### **NTP**

This document and the NTPTime program and source code are all Copyright (c) Tom Horsley, 1997-2004. All rights reserved. The right to unlimited distribution and use of this program is granted to anyone who agrees to keep the copyright notice intact and not alter the program.

Translation: You want changes in the program, make 'em yourself, but don't go distributing the new version with my name on it (or with your name on it either, since you didn't write most of it :-). If there are changes you would like to see distributed, by all means send 'em in to me, and if I like 'em I'll incorporate them in the next version.

### **expat**

The MIT License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

### **Libcurl**

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2007, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

#### **OpenTNEF LICENSE**

License Terms:

Use, Modification and Redistribution (including distribution of any modified or derived work) in source and binary forms is permitted only if each of the following conditions is met:

1. Redistributions qualify as "freeware" or "Open Source Software" under one of the following terms:

(a) Redistributions are made at no charge beyond the reasonable cost of materials and delivery.

(b) Redistributions are accompanied by a copy of the Source Code or by an irrevocable offer to provide a copy of the Source Code for up to three years at the cost of materials and delivery. Such redistributions must allow further use, modification, and redistribution of the Source Code under substantially the same terms as this license. For the purposes of redistribution "Source Code" means the complete compilable and linkable source code of OpenTNEF including all modifications.

2. Redistributions of source code must retain the copyright notices as they appear in each source code file, these license terms, and the disclaimer/limitation of liability set forth as paragraph 6 below.

3. Redistributions in binary form must reproduce the Copyright Notice, these license terms, and the disclaimer/limitation of liability set forth as paragraph 6 below, in the documentation and/or other materials provided with the distribution. For the purposes of binary distribution the "Copyright Notice" refers to the following language:

"Copyright (c) 2003 P.L.Daniels, All rights reserved."

4. Neither the name of OpenTNEF, nor Paul L Daniels, nor the the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

5. All redistributions must comply with the conditions imposed by the University of California on certain embedded code, whose copyright notice and conditions for redistribution are as follows:

(a) Copyright (c) 2003 P.L.Daniels, All rights reserved.

(b) Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

(i) Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

(ii) Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

(iii) Neither the name of OpenTNEF, nor P.L.Daniels, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

6. Disclaimer/Limitation of Liability: THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY P.L.Daniels. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL SENDMAIL, INC., THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT

OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

**Boost Software License - Version 1.0**

August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

**License for V19**

(See source code for similar V18 license at [http://www.portaudio.com/docs/portaudio\\_h.txt](http://www.portaudio.com/docs/portaudio_h.txt).)

PortAudio Portable Real-Time Audio Library

Copyright (c) 1999-2000 Ross Bencina and Phil Burk

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

**PCRE LICENCE**

PCRE is a library of functions to support regular expressions whose syntax and semantics are as close as possible to those of the Perl 5 language.

Release 7 of PCRE is distributed under the terms of the "BSD" licence, as specified below. The documentation for PCRE, supplied in the "doc" directory, is distributed under the same terms as the software itself.

The basic library functions are written in C and are freestanding. Also included in the distribution is a set of C++ wrapper functions.

#### THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

-----

Copyright (c) 1997-2006 University of Cambridge  
All rights reserved.

#### THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

-----

Contributed by: Google Inc.  
Copyright (c) 2006, Google Inc.  
All rights reserved.

#### THE "BSD" LICENCE

-----

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

\* Redistributions of source code must retain the above copyright notice,  
this list of conditions and the following disclaimer.

\* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

\* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

End

#### **PSMTabBarController**

Portions of this software Copyright 2004 The Shiira Project. All rights reserved.

Check them out at: <http://hmdt-web.net/shiira/>

Credit to the sweet coding goodness of Positive Spin Media at [www.positivespinmedia.com](http://www.positivespinmedia.com).

Copyright (c) 2005, Positive Spin Media

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of Positive Spin Media nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

#### **imap-2004c1**

University of Washington IMAP toolkit

Version 2004 of IMAP toolkit

Copyright © 1988-2005 University of Washington

This University of Washington Distribution (IMAP Toolkit code and documentation) is made available to the open source community as a public service by the University of Washington. Contact the University of Washington at [imap-license@cac.washington.edu](mailto:imap-license@cac.washington.edu) for information on placing or integrating modifications to the Distribution into proprietary systems. Unmodified distribution is governed by the terms identified below.

Under this license, this Distribution may be used as-is or may be modified and the original version and modified versions may be copied, distributed, publicly displayed and performed provided that the following conditions are met:

Modified versions are distributed with source code and documentation and with permission for others to use any code and documentation (whether in original or modified versions) as granted under this license;

if modified, the source code, documentation, and user run-time elements should be clearly labeled by placing an identifier of origin (such as a name, initial, or other tag) after the version number;

users, modifiers, distributors, and others coming into possession or using the Distribution in original or modified form accept the entire risk as to the possession, use, and performance of the Distribution;

this copyright management information (software identifier and version number, copyright notice and license) shall be retained in all versions of the Distribution;

the University of Washington may make modifications to the Distribution that are substantially similar to modified versions of the Distribution, and may make, use, sell, copy, distribute, publicly display, and perform such modifications, including making such modifications available under this or other licenses, without obligation or restriction;

modifications incorporating code, libraries, and/or documentation subject to any other open source license may be made, and the resulting work may be distributed under the terms of such open source license if required by that open source license, but doing so will not affect this Distribution, other modifications made under this license or modifications made under other University of Washington licensing arrangements;

no permission is granted to distribute, publicly display, or publicly perform modifications to the Distribution made using proprietary materials that cannot be released in source format under conditions of this license;

the name of the University of Washington may not be used in advertising or publicity pertaining to Distribution of the software without specific, prior written permission;

pursuant to U.S. laws, Distribution may not be downloaded, acquired or otherwise exported or re-exported (i) into, or to a national or resident of any country to which the U.S. has embargoed goods; or to anyone on the U.S. Treasury Department's list of Specially Designated Nations or the U.S. Commerce Department's Table of Denial Orders. By downloading the Distribution, you represent that: 1) you are not located in or under the control of a national or resident of any such country or on any such list; and 2) you will not export or re-export the Distribution to any prohibited country, or to any prohibited person, entity, or end-user as specified by U.S. export controls.

This software is made available "as is", and

THE UNIVERSITY OF WASHINGTON DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND IN NO EVENT SHALL THE UNIVERSITY OF WASHINGTON BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE) OR STRICT LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

### **Netscape Portable Runtime**

To obtain more information about the Mozilla source code used in this product, go to:  
<http://www.mozilla.org/projects/nspr>.

Mozilla Public License Version 1.1

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use"

means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor"

means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version"

means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code"

means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism"

means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

## 1.5. "Executable"

means Covered Code in any form other than Source Code.

## 1.6. "Initial Developer"

means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

## 1.7. "Larger Work"

means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

## 1.8. "License"

means this document.

## 1.8.1. "Licensable"

means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

## 1.9. "Modifications"

means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:

- a. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.
- b. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

## 1.10. "Original Code"

means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

## 1.10.1. "Patent Claims"

means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

## 1.11. "Source Code"

means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

## 1.12. "You" (or "Your")

means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

## 2. Source Code License.

## 2.1. The Initial Developer Grant.

The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

- a. under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and
- b. under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).
- c. the licenses granted in this Section 2.1 (a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.
- d. Notwithstanding Section 2.1 (b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

#### 2.2. Contributor Grant.

Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

- a. under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and
- b. under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).
- c. the licenses granted in Sections 2.2 (a) and 2.2 (b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.
- d. Notwithstanding Section 2.2 (b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

### 3. Distribution Obligations.

#### 3.1. Application of License.

The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

#### 3.2. Availability of Source Code.

Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

### 3.3. Description of Modifications.

You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

### 3.4. Intellectual Property Matters

#### (a) Third Party Claims

If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

#### (b) Contributor APIs

If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

#### (c) Representations.

Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4 (a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

### 3.5. Required Notices.

You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear that any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

### 3.6. Distribution of Executable Versions.

You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Sections 3.1, 3.2, 3.3, 3.4 and 3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

#### 3.7. Larger Works.

You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

#### 4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

#### 5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

#### 6. Versions of the License.

##### 6.1. New Versions

Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

##### 6.2. Effect of New Versions

Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

##### 6.3. Derivative Works

If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your

version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

#### 7. DISCLAIMER OF WARRANTY

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABILITY, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

#### 8. Termination

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

a. such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

b. any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

#### 9. LIMITATION OF LIABILITY

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

#### 10. U.S. government end users

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

#### 11. Miscellaneous

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

#### 12. Responsibility for claims

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

#### 13. Multiple-licensed code

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the MPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

Exhibit A - Mozilla Public License.

"The contents of this file are subject to the Mozilla Public License

Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in

compliance with the License. You may obtain a copy of the License at  
<http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is \_\_\_\_\_.

The Initial Developer of the Original Code is \_\_\_\_\_.

Portions created by \_\_\_\_\_ are Copyright (C) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_, All Rights Reserved.

Contributor(s): \_\_\_\_\_.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the \_\_\_\_\_ license (the "[\_\_\_\_\_] License"), in which case the provisions of [\_\_\_\_\_] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [\_\_\_\_\_] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [\_\_\_\_\_] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [\_\_\_\_\_] License."

NOTE: The text of this Exhibit A may differ slightly from the text of the notices in the Source Code files of the Original

Code. You should use the text of this Exhibit A rather than the text found in the Original Code Source Code for Your Modifications.

**tinymce**

This software contains code from tinymce.

**convertUTF**

Copyright 2001-2004 Unicode, Inc.

Disclaimer

This source code is provided as is by Unicode, Inc. No claims are made as to fitness for any particular purpose. No warranties of any kind are expressed or implied. The recipient agrees to determine applicability of information provided. If this file has been purchased on magnetic or optical media from Unicode, Inc., the sole remedy for any claim will be exchange of defective media within 90 days of receipt.

Limitations on Rights to Redistribute This Code

Unicode, Inc. hereby grants the right to freely use the information supplied in this file in the creation of products supporting the Unicode Standard, and to make copies of this file in any form for internal or external distribution as long as this notice remains attached.





## GLOSSARY

---

### C

#### コンソール

Cisco Unified Personal Communicator のメイン ウィンドウ。[ 連絡先 ] [ 通信履歴 ] および [ 検索 ] ウィンドウのほか、ステータス情報、ボタン、メニュー、およびその他のコントロール オプションが表示されます。

#### 会話ウィンドウ

会話中に表示されるウィンドウ。現在進行中の会話は、アクティブなウィンドウに表示されます。

---

### D

#### デスクの電話

会社のネットワークに接続されている Cisco Unified IP Phone。通常は、机の上に設置されている電話のことです。

#### ダイヤルパッド

電話のキーパッドとして機能する小さいウィンドウ。

外観の似た 2 つのダイヤルパッドがあります。1 つは電話番号をダイヤルするのに使用します。もう 1 つはアクティブな会話ウィンドウからアクセスするもので、番号付きの選択肢やパスワードなど、情報を入力する指示があったときに使用します。

---

### I

#### IP Phone Messenger (IPPM)

Cisco Unified IP Phone のサービスとして実行されるアプリケーション。このサービスは Cisco Unified Personal Communicator から独立していますが、プレゼンスステータス、インスタントメッセージ、連絡先管理などの領域では Cisco Unified Personal Communicator と連携して動作します。

---

O

**オフライン** Cisco Unified Personal Communicator にログインしていない状態。

---

P

**電話モード** Cisco Unified Personal Communicator がソフトフォンとして動作しているか、Cisco Unified IP Phone（デスクの電話）に関連付けられているかを示すモード。

**優先する連絡手段** 他のユーザに連絡するとき、または他のユーザからの連絡を受けるときに使用するメディアを指定できます。たとえば、電話や電子メールです。

**プロフィール** Cisco Unified Personal Communicator システムに格納される個人の情報。たとえば、個人が設定した内容です。

Web 会議においては、*プロフィール*は Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザアカウントを指します。

---

R

**プレゼンスステータス** Cisco Unified Personal Communicator のユーザが応対可能かどうかを示すステータス。[ 応対可能 ] や [ 不在 ] など。これは、他の Cisco Unified Personal Communicator ユーザに対して表示されるステータスです。これにより、相手に連絡するのに最適な時間や手段を知ることができます。

たとえば、コンピュータや電話の使用状況をシステムに検出させてプレゼンスを決定することが可能です。または、自分でプレゼンスのステータスを設定することも可能です。

---

S

**ソフトフォン** 電話として機能するソフトウェア。Cisco Unified Personal Communicator にはソフトフォンが含まれています。

---

**W****Web 会議**

自分のコンピュータ上のドキュメントおよびアプリケーションを、会話の参加者にも表示させるための Cisco Unified Personal Communicator の機能。





## INDEX

- C**
- Cisco IP Communicator 1-5
  - Cisco IPVC
    - 「Cisco Unified Videoconferencing」を参照
  - Cisco Unified CallManager
    - 「Cisco Unified Communications Manager」を参照
  - Cisco Unified Communications Manager
    - ユーザ オプション Web ページ 1-17, 10-2
  - Cisco Unified IP Phone 1-11, 1-17, 27
    - 「デスクの電話」を参照
    - モデル 7985 4-2
  - Cisco Unified MeetingPlace 1-7, 1-17, 5-1, 10-23
  - Cisco Unified MeetingPlace Express 1-7, 1-17, 5-1, 10-23
  - Cisco Unified Presence
    - ユーザ オプション Web ページ 1-17, 2-5, 10-10
  - Cisco Unified Video Advantage 1-5, 4-2, 4-3
  - Cisco Unified Videoconferencing 4-2
  - Cisco VT Advantage
    - 「Cisco Unified Video Advantage」を参照
- E**
- Extension Mobility 1-12
- I**
- IP Phone Messenger 1-17, 2-5, 7-2, 8-1, 27
  - IPPM
    - 「IP Phone Messenger」を参照
- M**
- Microsoft Outlook
    - 「Outlook」を参照
- O**
- Outlook
    - セキュリティ警告 10-11
    - ツールバー
      - インストール 1-3
      - 削除 1-3
      - 使用 3-5
    - 予定表とプレゼンス ステータス 2-2, 2-5
- P**
- Problem Reporting Tool 10-30

U

Unity

「ボイスメール」を参照

W

Web 会議

1-7, 29

会話の結合 6-2

会話への追加 5-2

再参加 5-4

参加者の追加 5-2

終了 5-5

処理中のオプション 5-4

トピック 5-1

トラブルシューティング 10-23

について 5-1

ヘルプ 5-4

あ

アイコン

識別 2-3, 8-4, 9-3

アクセシビリティ 1-16

アップグレード 1-18

アプリケーション

共有 5-1

い

インスタントメッセージ 7-2

設定 7-3

トラブルシューティング 10-25

メッセージの保存 7-4

インストール 1-2

トラブルシューティング 10-2

え

エラー レポート

作成 10-30

お

対応可能 (プレゼンス ステータス) 2-3

オーディオ

デバイス

設定 1-9

トラブルシューティング 10-13

「ヘッドセット」も参照

オフライン (プレゼンス ステータス) 2-3

オンライン ヘルプ

「ヘルプ」を参照

音量

トラブルシューティング 10-13, 10-14,  
10-15, 10-16

変更 3-13

呼び出し 1-10

か

会議コール 3-14

トピック 6-1

ビデオの使用 4-4

外出中メッセージ 2-10

## 会話

- 開始 3-3, 3-4
  - トラブルシューティング 10-8
- 参加者の識別 3-14
- 終了 3-14
- 処理中のオプション 3-11
- トピック 3-1
- トラブルシューティング 10-13
- について 3-2
- ビデオを開始 4-4
- 複数 3-10, 6-2
  - 結合 6-3
- 会話ウィンドウ 27
  - クローズ 3-15
- カメラ
  - 「ビデオ」を参照
- 画面解像度 10-8

## く

- グラフィック
  - 「アイコン」を参照
- グループ
  - 「連絡先」を参照

## け

## 検索

- 連絡先の 8-2
- 検索結果
  - 消去 8-3
  - ソート 8-3
  - トラブルシューティング 10-28

## こ

## コール

- 応答 3-9
- 着信
  - 応答 3-9
  - トラブルシューティング 10-12
- 転送 3-12
  - トラブルシューティング 10-11
- コール
  - 「会話」も参照。
- コールの転送 3-12
- コールの結合 6-2
  - トラブルシューティング 10-18
- コール履歴 9-1
- コンソール 27
  - トラブルシューティング 10-8

## さ

- サーバ診断 10-30
- 削除
  - 通信履歴 9-5
- 削除取り消し
  - 通信履歴 9-5
  - ボイスメール 9-6
- 参加者リスト 3-14

## し

- システム要件 1-2
- 使用する前に 1-16

- す
- ステータス  
「プレゼンス」を参照
- せ
- セキュリティ 1-18  
警告 10-5, 10-6, 10-11
- 接続  
トラブルシューティング 10-2
- 設定  
トピック 1-8, 2-5, 3-15, 7-3
- そ
- ソフトフォン 1-5, 1-11, 3-9, 3-13, 10-13, 28  
「デスクの電話」, 「電話モード」も参照
- た
- ダイヤルパッド 27  
コール中の選択またはパスワードの入力に使用 3-11  
コールの発信に使用 3-4
- ち
- 着信コール 9-1
- つ
- 通信の詳細 9-5
- 通信履歴  
アイコンの識別 9-3  
削除 9-4, 9-5  
削除された 9-3  
識別 9-4  
ソート 9-4  
通信の詳細 9-5  
トピック 9-1  
トラブルシューティング 10-27  
について 9-2  
フィルタ 9-5  
未読にする 9-5
- て
- ディレクトリ、会社  
検索 8-2  
デスクの電話 1-11, 1-12, 3-3, 3-9, 3-13, 10-7, 10-27, 27  
「ソフトフォン」, 「電話モード」も参照  
トラブルシューティング 10-7
- 電子メール  
送信 7-4  
電子メールアドレス  
優先の指定 1-14
- 電話  
選択 1-11, 1-12  
「ソフトフォン」, 「デスクの電話」, 「Cisco Unified IP Phone」も参照
- 電話番号  
優先の指定 1-14  
電話モード 28  
選択 1-11

- トラブルシューティング 10-7
- と
- ドキュメント 1-16, 5-4
  - 共有 5-1
  - 「ヘルプ」も参照
- トラブルシューティング
  - トピック 10-1
  - 問題に関する情報の取得 10-29, 10-31
- に
- ニックネーム 8-6
- は
- バーチャル プライベート ネットワーク 10-14
- パスワード
  - Cisco Unified Personal Communicator 1-6
  - Web 会議用 1-7, 5-6
  - 通話中の入力 3-11
  - ボイスメール用 1-6
  - 「ログイン」も参照
- 発信コール 9-1
- ひ
- ビデオ 3-9
  - 一時停止 4-5
  - 会議コール 4-4
  - カメラ
    - インストールと設定 1-3, 1-9
- トラブルシューティング 10-19
  - コール中のオプション 4-5
  - コールへの追加 4-4
  - 自分自身の画像の表示 4-4
  - 着信の表示 4-2
  - トピック 4-1
  - トラブルシューティング 10-19
    - について 4-2
    - 要件 4-2, 4-3
- ふ
- ファイアウォール 1-6
- 不在コール 9-1
  - 識別 9-3, 9-4
- 不在 (プレゼンス ステータス) 2-3
- プッシュホン応答 3-11
- プレゼンス 2-2, 28
  - アイコン 2-3
  - 対応可能 2-3
  - オフライン 2-3
  - 外出中 2-10
  - カスタム メッセージの指定 2-9
  - 自分自身の確認 2-4
  - ステータスの指定 2-5, 2-7, 2-10
  - トピック 2-1
  - トラブルシューティング 10-10
    - 不在 2-3
- プロファイル 28
  - Cisco Unified MeetingPlace Express または  
Cisco Unified MeetingPlace 5-6

- へ
- ヘッドセット 1-5, 1-9, 10-13
- ヘルプ 1-16, 5-4
  - トラブルシューティング 10-28
- ほ
- ボイスメール 3-10, 9-1, 9-2, 9-4
  - 削除取り消し 9-6
  - 設定 1-6
  - 「通信履歴」も参照
  - トピック 9-6
  - トラブルシューティング 10-27
  - リスト 9-4
- ボタン
  - トラブルシューティング 10-8, 10-18
- 保留
  - コールを 3-10, 3-12
  - コールを再開 3-12
- み
- ミュート 3-13
- め
- メニュー項目
  - トラブルシューティング 10-8
- ゆ
- ユーザ オプション Web ページ
  - 「Cisco Unified Communications Manager」
  - 「Cisco Unified Presence」を参照
- ユーザ名
  - Cisco Unified Personal Communicator 1-6
  - Web 会議用 1-7
  - ボイスメール用 1-6
- 優先する連絡先情報
  - 設定 1-14
- 優先する連絡手段 8-4, 28
  - 設定 1-14
- り
- リダイヤル 3-4
- れ
- 連絡先
  - グループ 8-7
    - 折りたたみ 8-7
    - 削除 8-7
    - 作成 8-7
    - 名前変更 8-7
    - 表示 8-7
  - 検索 8-2
  - 削除 8-6
  - 操作 8-2
  - トピック 8-1

## 連絡先一覧

トピック 8-1

について 8-1

## 連絡先の詳細

修正 8-6

表示 8-4

## ろ

ログイン 1-5, 9-2

自動 1-8

自動ログインのキャンセル 1-8

トラブルシューティング 10-2

ログ ファイル 10-31